

岡安証券

～注目・外株銘柄～

(2020年5月)

【米国市場・25銘柄掲載】

<新規(3月より継続)>

- P1 【クラウド】 アドビ(ADBE)
- P2 【クラウド】 サービスナウ(NOW)
- P3 【クラウド】 アトラシアン(TEAM)
- P4 【半導体製造装置】ラムリサーチ(LRCX)
- P5 【大手製薬】 アッヴィ(ABBV)
- P6 【ITサービス】 IBM(IBM)

<継続>

- P7 【ハイテク主力】アルファベット(GOOG)
- P8 【ハイテク主力】フェイスブック(FB)
- P9 【ハイテク主力】アップル(AAPL)
- P10 【ハイテク主力】 ネットフリックス(NFLX)
- P11 【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P12 【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)
- P13 【クラウド】 セールスフォース・ドットコム(CRM)
- P14 【5G(通信)】 キーサイト・テクノロジーズ(KEYS)
- P15 【半導体製造装置】 ASMLホールディング(ASML)
- P16 【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)
- P17 【半導体】 クアルコム(QCOM)
- P18 【半導体】 エヌビディア(NVDA)
- P19 【半導体】 ザイリンクス(XLNX)
- P20 【ストレージ】 ウェスタン・デジタル(WDC)
- P21 【医療機器】 インテュイティブ・サージカル(ISRG)
- P22 【フィンテック】 ビザ(V)
- P23 【金融】 S&Pグローバル(SPGI)
- P24 【防衛・宇宙】 ロッキード・マーティン(LMT)
- P25 【公益】 ネクステラ・エナジー(NEE)

(株価データ、株価指標は現地20年4月29日現在)

<新規>

- グラフィックデザイン/文書編集/マーケティング・ソフト大手
- 内勤業務の効率化支援のソフトウェア企業
- プロジェクト管理中心のソフトウェア企業
- エッチング装置の世界最大手
- 関節リウマチ薬が主力の米製薬大手
- 融合型クラウドでの巻き返しを目指す老舗ITサービス大手

<継続>

- インターネット検索サービス世界最大手
- 世界最大のSNS運営会社
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- 動画配信サービス最大手
- インターネット小売世界最大手
- ソフトウェア世界最大手
- クラウド専門の顧客管理ソフト最大手
- 電子計測器の世界最大手
- 世界の半導体製造装置の大手
- 世界最大の半導体製造受託企業
- スマートフォン向け半導体世界大手
- 画像処理半導体(GPU)開発企業
- PLDやFPGA半導体の大手
- HDD、フラッシュメモリーの業界大手
- 外科手術ロボットを製造・販売
- クレジットカード決済サービス世界最大手
- 金融情報サービス大手
- 防衛請負の世界最大手
- 環境配慮型の発電に特化する電力会社

社名 (ティッカー)

アドビ(ADBE)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

グラフィックデザインやマーケティング分野に強いソフトウェア企業。クラウド化に成功

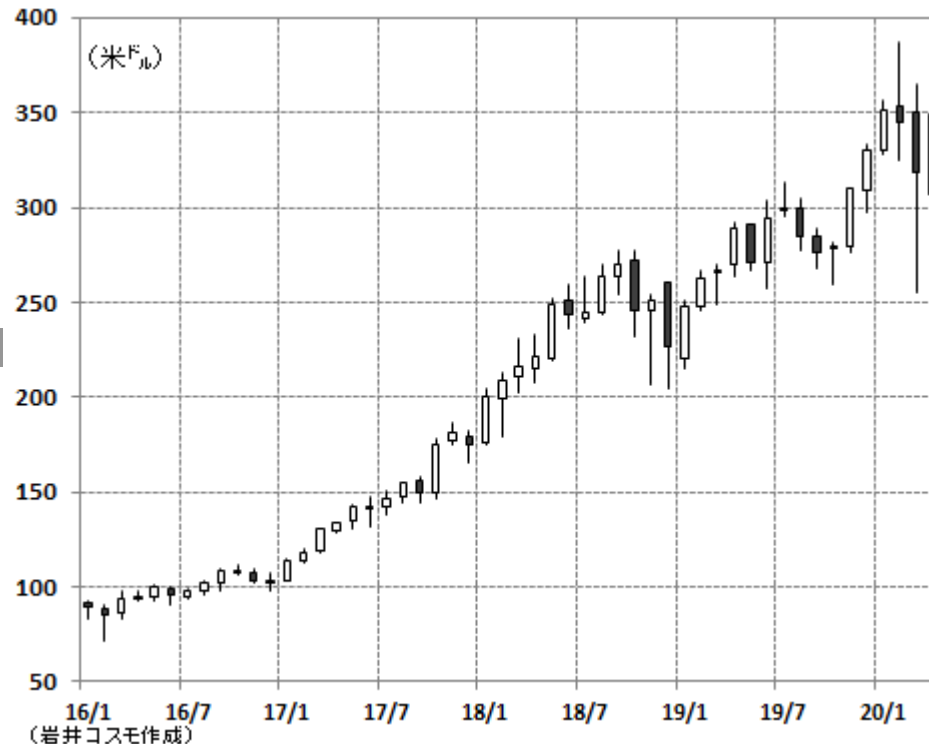
会社概要

画像加工/文書編集/マーケティング・ソフトの大手。身近な例では文書ソフト「PDFファイル」が有名。画像加工ソフト「フォトショップ」、「イラストレータ」等のクリエイター向けのソフトが売上の6割を占め、収益の柱。2009年にサイト閲覧解析のオムチュアの買収を機にデジタルマーケティング分野を強化、19年1月にマーケティング自動化ソフトのマルケトを取得。本社はカリフォルニア州サンセ、従業員数は22,381名(20年2月末)。

注目ポイント

□**クラウドビジネス転換の成功企業**: アドビは他社に先駆け2012年に従来のパッケージ販売からサブスクリプション(継続課金)制へ転換を図り現在、関連収入が9割を占め、営業利益率のV字回復も達成し成功した企業として知られる。サブスク方式はエンジニアによる日々の改良をソフトに反映したものがすぐに使えるほか、主要顧客のクリエイターのアドビソフトに対する信頼も厚かったこと等が成功の要因とされる。

□**新型コロナウイルスの影響に言及**: 同社は3月12日の決算発表で、新型コロナウイルスの影響について言及。サブスクリプション収入によって収益予想は立て易いとしたが、顧客である法人がマーケティングなどへの支出を控えると同社サービスにも悪影響が及ぶと指摘した。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|--------------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 349.17 (04/29) | 実績PER | 53.0 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 386.69 (20/02/20) | 株価売上高比率 | 14.5 (倍) | 2018/11 | 9,030 | 24 | 2,840 | 31 | 2,591 | 53 | 5.20 | 0.00 |
| 52週安値(日付) | 255.14 (20/03/18) | PBR | 16.1 (倍) | 2019/11 | 11,171 | 24 | 3,268 | 15 | 2,951 | 14 | 6.00 | 0.00 |
| 時価総額 | 1,682億ドル 17兆9,468億円 | 税前提当利回り(%) | 無配 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 25.6 (過去6ヶ月間) 20.7 (過去1年間) | 配当成長率(%) | — (過去1年間) | 2019/Q1 | 2,601 | — | 695 | — | 674 | — | 1.36 | 0.00 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 31.8 (%) | 2020/Q1 | 3,091 | 19 | 937 | 35 | 955 | 42 | 1.96 | 0.00 |
| | | 株式ベータ | 0.88 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

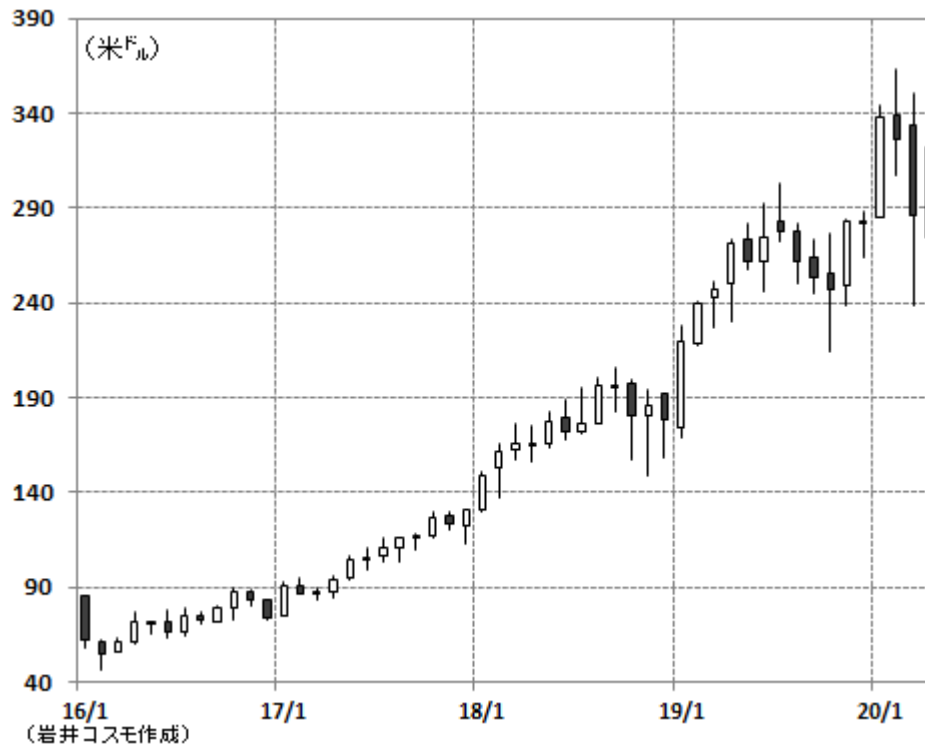
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、採用企業も世界で拡大中。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。地域別売上高(19年度)は北米66%、欧州25%、アジア・太平洋が9%。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は10,371名(19年12月末)。19年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **契約企業数6,200社突破**：最近では上記ソフト以外に、人事や顧客支援分野等のソフトも提供、製品ラインナップを拡充している。契約顧客数は全世界で6,200社を超え、同社は米フォーブス誌の『2018年の世界で最も革新性のある企業』にも選ばれた。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル) | 321.99 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 362.81 (20/02/19) |
| 52週安値(日付) | 214 (19/10/23) |
| 時価総額 | 614億ドル 6兆5,507億円 |
| 株価変化率(%) | 30.2 (過去6ヶ月間) 18.6 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) | |
|----------------|----------------|
| 実績PER | 93.8 (倍) |
| 株価売上高比率 | 16.3 (倍) |
| PBR | 28.7 (倍) |
| 税前提当利回り(%) | 無配 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | — (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 38.7 (%) |
| 株式ベータ | 0.99 (対S&P500) |

| 通期業績 | | | | | | | | |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 2018/12 | 2,609 | 36 | -42 | 赤継 | -27 | 赤継 | -0.15 | 0.00 |
| 2019/12 | 3,460 | 33 | 42 | 黒転 | 627 | 黒転 | 3.18 | 0.00 |
| 四半期業績 | | | | | | | | |
| 2019/Q1 | 789 | — | -15.7 | — | -2 | — | -0.01 | 0.00 |
| 2020/Q1 | 1,046 | 33 | 49 | 黒字転換 | 48 | 黒字転換 | 0.24 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アトシアン(TEAM)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

プロジェクト管理ソフトで成長する企業。クチコミに頼ったユニークな販売が特徴

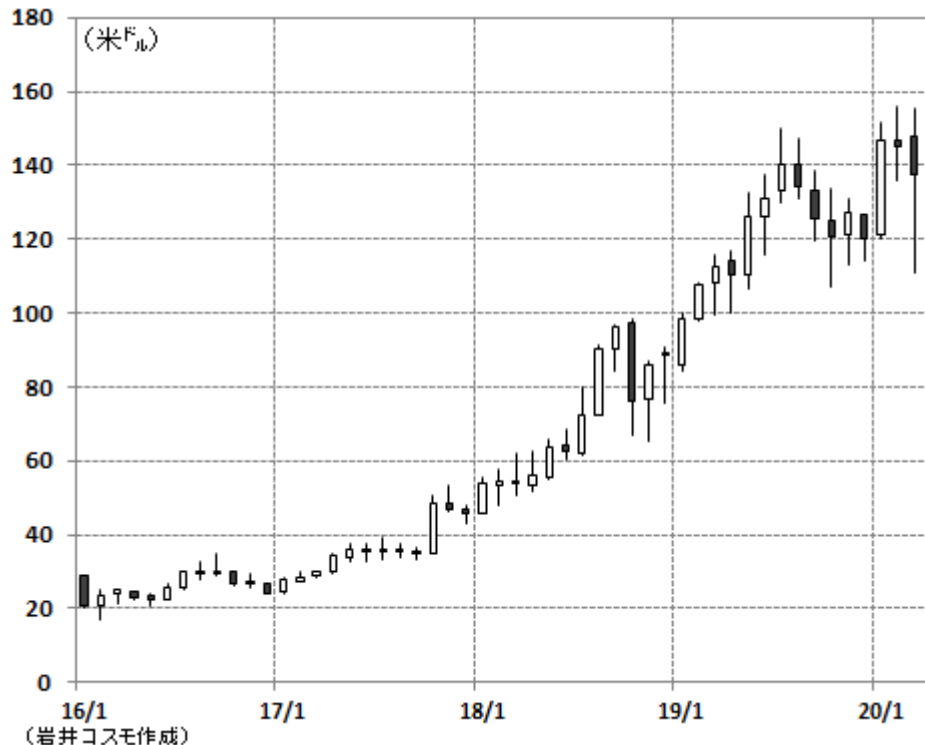
会社概要

2002年設立にオーストラリアの2人の大学生が創業した企業向けのソフトウェア開発企業。プロジェクト管理やコラボレーション等々の各種ソフトウェアを提供している。会社自体は英国で法人登記され、事実上本社はオーストラリアのシドニーにある。自社ソフトウェアの販売方法は、営業担当部署を置かずオンラインを通じた販売に徹して低価格化を実現させている点がユニーク(他方、提携先経由の间接販売も約3割ある)。

注目ポイント

□ **有名企業が利用**: 19年12月末時点のユーザー数は164,790。大口顧客にトヨタ、シスコシステムズ、バンク・オブ・アメリカ、リフト、ベライゾン、NASA等がある。チームの行動計画やプロジェクト管理ソフトの「ジラ」を中心に情報共有ツール、コラボレーションツール、顧客サポート支援ツール等を提供。

□ **販管費抑制・研究開発重視型**: クチコミの広がりにも頼った販売体制をとっており、営業部隊による積極的な販売活動を行っておらず、他社比較して販売・管理費用の対売上高比率が低く、研究開発費の対売上比が高いのが財務的な特徴。また、初期導入時に無償でスタートでき、有料版に切り換えてもらう戦略も実施。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標 (バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|------------|-----------------------------------|-----------------|------------------|--------------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価 (米ドル) | 152.73 (04/29) | 実績PER | — (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値 (日付) | 158.92 (20/04/27) | 株価売上高比率 | 26.1 (倍) | 2018/06 | 881 | 42 | -46 | 赤継 | -113 | 赤継 | -0.49 | 0.00 |
| 52週安値 (日付) | 106.35 (19/05/06) | PBR | 41.7 (倍) | 2019/06 | 1,210 | 37 | -63 | 赤継 | -638 | 赤継 | -2.67 | 0.00 |
| 時価総額 | 375億ドル 3兆9,988億円 | 税前提当利回り (%) | 無配 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率 (%) | 26.4 (過去6ヶ月間) 38.7 (過去1年間) | 配当成長率 (%) | — (過去1年間) | 2019/Q2 | 299 | — | -3 | — | 45 | — | 0.18 | 0.00 |
| | | 株主資本利益率 (ROE) | -28.8 (%) | 2020/Q2 | 409 | 37 | 42 | 黒転 | 124 | 175 | 0.49 | 0.00 |
| | | 株式ベータ | 0.80 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ラムリサーチ(LRCX)

エッチング装置の世界最大手

上場市場

ナスダック

セクター

半導体製造装置

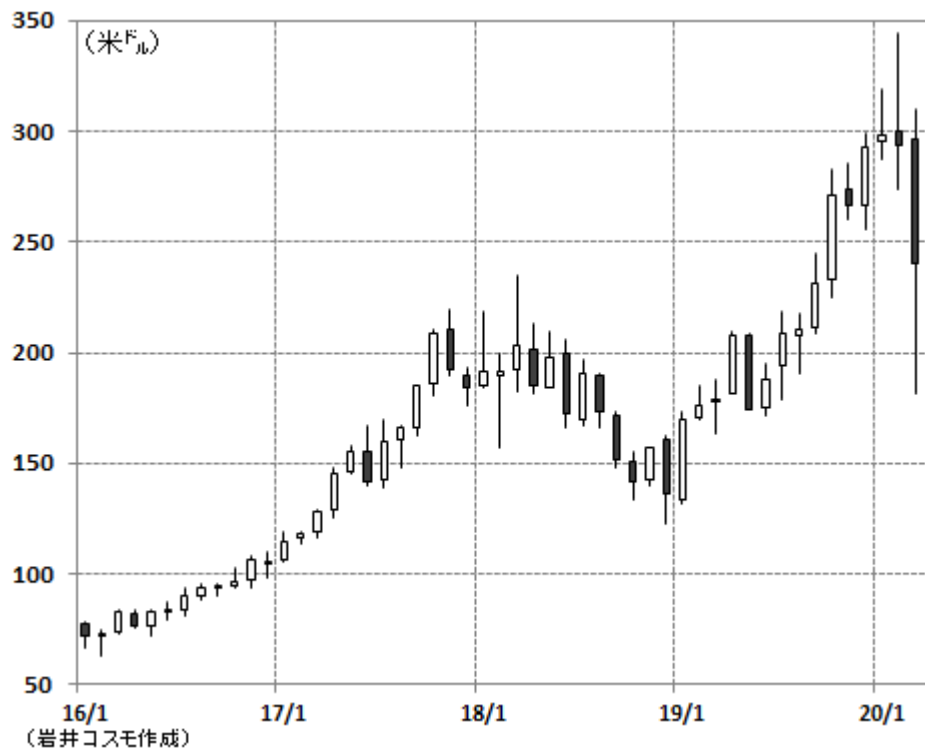
会社概要

半導体製造装置大手。半導体製造工程の前工程のエッチング装置で世界トップシェアを誇る。半導体メカは同社のウエハ加工装置を活用することで、より小型で高速かつ高性能な電子デバイスを作ることができる。2011年に同業ハラス・システムズを28億ドルで買収。1980年創業、本社はカリフォルニア州・フリーモント、従業員数は約10,700人(19年12月末時点)。アプライト・マテリアルズ、東京エレクトロン等がライバル。

注目ポイント

□**エッチング装置に強み、微細化で需要拡大**：同社は半導体製造工程における前工程のエッチングに強みを持つ。エッチング装置とは、半導体に精密な凹凸を形成するための装置で、パターンにあわせて不要な部分を削る。半導体の回路線幅の微細化に伴い、露光機1台に対してエッチング装置が従来の1~2台から、複数台を使用する必要性が生じているとされる。

□**4-6月期の業績見直しを取り下げ**：同社は3月中旬に新型コロナウイルスの感染拡大を理由に4-6月期の業績見直しを取り下げた。今後については、「短期的なマクロ経済情勢とサプライチェーンの回復については見えない部分が多いものの、需要は引き続き強い」とした。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|------------------------------|----------------|----------------|--------------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株 価(米ドル) | 279.99 (04/29) | 実績PER | 19.4 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 344.31 (20/02/13) | 株価売上高比率 | 4.2 (倍) | 2018/06 | 11,077 | 38 | 3,213 | 69 | 2,381 | 40 | 13.17 | 2.55 |
| 52週安値(日付) | 171.08 (19/06/03) | PBR | 9.0 (倍) | 2019/06 | 9,654 | -13 | 2,465 | -23 | 2,191 | -8 | 13.70 | 4.40 |
| 時 価 総 額 | 406億ドル 4兆3,359億円 | 税前提当利回り(%) | 1.64 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 3.3 (過去6ヶ月間) 35.0 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 3.4 (過去1年間) | 2019/Q3 | 2,439 | — | 566 | — | 547 | — | 3.47 | 1.10 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 42.7 (%) | 2020/Q3 | 2,504 | 3 | 694 | 23 | 575 | 5 | 3.88 | 1.15 |
| | | 株式ベータ | 1.42 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

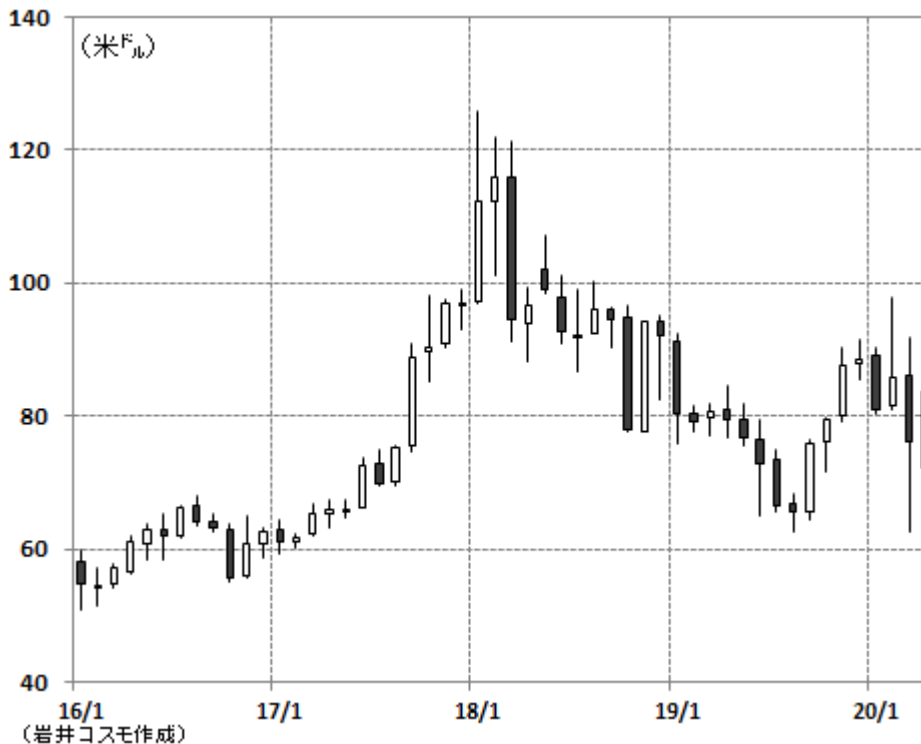
関節リウマチ薬を主力とする米製薬大手。しわ取り薬で知られるアラガンを買収予定

会社概要

新薬メカ大手。米医療計測機器大手アボット社から2013年1月に分離・独立。「S&P500種・配当貴族指数」の構成銘柄。免疫学やC型肝炎、婦人病、腫瘍、神経系疾患等の治療薬を開発。最主力薬は売上の5割以上占める「ヒュミラ」で、関節リウマチ治療薬の世界売上No.1(17年)を誇ったが、18年後半に欧州各国で特許切れ、米国では2022年に完全切れる見込み。19年6月にアラガンの買収を発表。

注目ポイント

- **中国保険当局に抗HIV薬を提供**：新型コロナウイルス対策の緊急診療試験に中国保険当局が当社の抗HIV治療薬「アルピア」を使用。公衆衛生危機の支援のため、アッヴィは寄付という形をとっている。
- **アラガンを1-3月期に買収見込み**：しわ取り薬「ホトックス」で知られるアラガンを1-3月期中に買収手続きを終える予定。統合によるシナジー効果目標20億ドルを掲げる。アッヴィ単独の今20年度見通しは為替変動を除く増収率が前期比8%増、調整後1株利益は前期比7~9%増の9.61~9.71ドルを提示。会社側は20以上の開発後期の臨床試験プログラムが進行中で新薬開発の充実振りは業界トップクラスとした。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | |
|-----------|-----------------------------|
| 株価(米ドル) | 83.76 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 97.86 (20/02/12) |
| 52週安値(日付) | 62.55 (20/03/23) |
| 時価総額 | 1,237億ドル 13兆1,948億円 |
| 株価変化率(%) | 5.3 (過去6ヶ月間) 5.5 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) | |
|----------------|----------------|
| 実績PER | 10.4 (倍) |
| 株価売上高比率 | 3.7 (倍) |
| PBR | - (倍) |
| 税前配当利回り(%) | 5.64 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | 10.8 (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | - (%) |
| 株式ベータ | 0.97 (対S&P500) |

| 通期業績 | | | | | | | | |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 2018/12 | 32,753 | 16 | 6,383 | -33 | 5,687 | 7 | 3.66 | 3.95 |
| 2019/12 | 33,266 | 2 | 12,983 | 103 | 7,882 | 39 | 5.28 | 5.57 |
| 四半期業績 | | | | | | | | |
| 2018/Q4 | 8,305 | - | -2,441 | - | -1,826 | - | -1.23 | 1.07 |
| 2019/Q4 | 8,704 | 5 | 3,956 | 黒転 | 2,801 | 黒転 | 1.88 | 0.71 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

I B M(IBM)

上場市場

ニューヨーク

セクター

ITサービス

IT(情報技術)業界の老舗。融合型クラウド、ブロックチェーンや量子コンピューターで巻き返しを図る

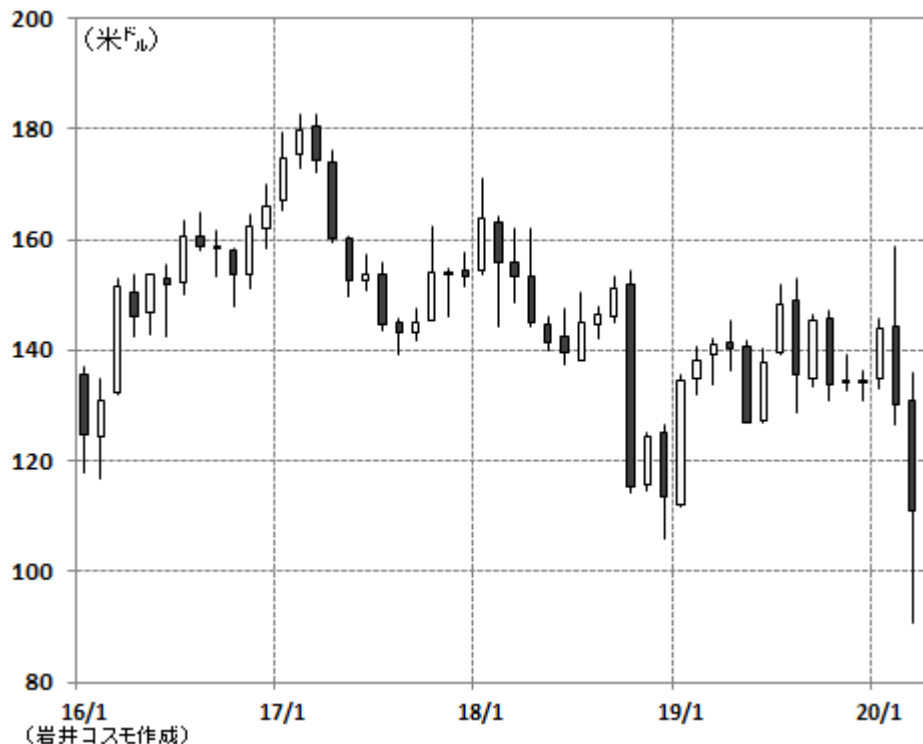
会社概要

1910年設立。100年以上の歴史を持つ老舗企業でコンピュータサービス最大手。米国特許取得の年間件数では26年連続の首位。「ビッグデータ」分析やAI機能搭載のスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生み出した。メインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業が安定収益源である一方、クラウド化推進の妨げにもなり、アマゾンやマイクロソフト等に出遅れてきた面も。株主還元では24年連続の増配実績記録を持つ。

注目ポイント

□**レッドハット買収とトップ交代**: IBMはクラウド関連ソフト大手のレッドハットを約350億ドルかけて19年7月に取得。これを機にリナックスを基盤にしたオンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型のハイブリッドクラウド分野を強化中。レッドハット買収に尽力したインド出身のクリシュナ氏が4月に次期CEOに就任する予定で量子コンピューティングなど多くの新テクノロジーの開発分野を束ねる同氏の手腕に期待が高まる。

□**6月末までに新たな見通し**: 同社は事業環境の先行きに不透明感が強いことを理由に、従来の20年通期の業績見通しを撤回。6月末までに新たな業績見通しを示すと発表した。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|--------------|---------------|------------|-----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 128.69 (04/29) | 実績PER | 9.3 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 税引前利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 158.72 (20/02/06) | 株価売上高比率 | 1.5 (倍) | 2018/12 | 79,591 | 1 | 11,342 | -1 | 8,728 | 52 | 9.52 | 6.21 |
| 52週安値(日付) | 90.6 (20/03/23) | PBR | 5.7 (倍) | 2019/12 | 77,147 | -3 | 10,166 | -10 | 9,431 | 8 | 10.56 | 6.43 |
| 時価総額 | 1,143億ドル 12兆1,896億円 | 税前配当利回り(%) | 5.07 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | -3.8 (過去6ヶ月間) -8.3 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 3.2 (過去1年間) | 2019/Q1 | 18,182 | — | 1,883 | — | 1,591 | — | 1.78 | 1.57 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 49.4 (%) | 2020/Q1 | 17,571 | -3 | -49 | 赤転 | 1,175 | -26 | 1.31 | 1.62 |
| | | 株式ベータ | 1.03 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アルファベット(GOOG)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告市場拡大の恩恵享受

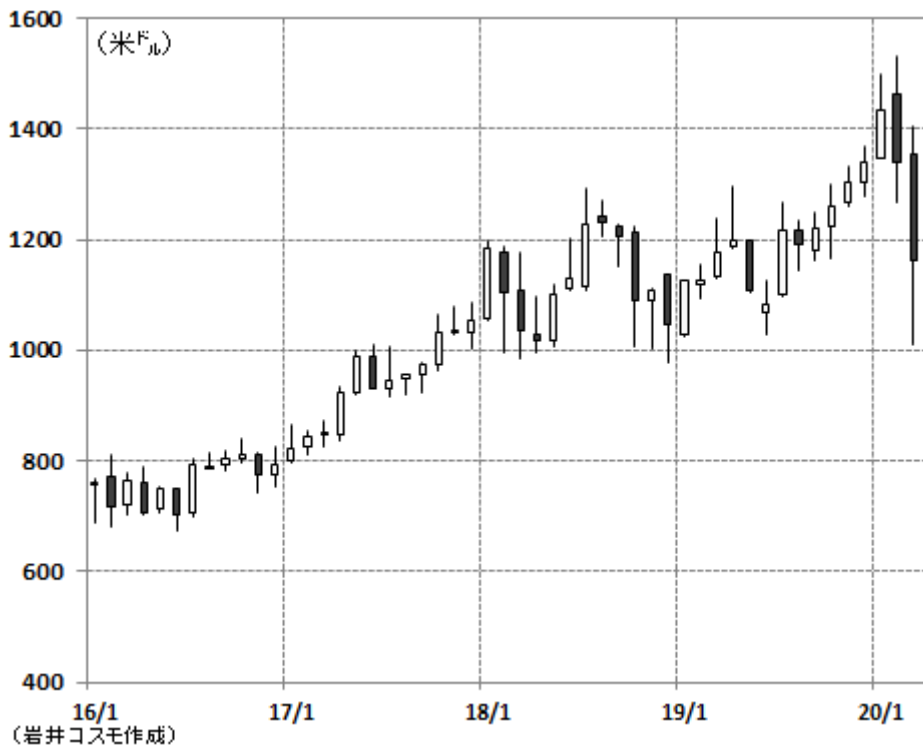
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロムブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は118,899人(19年12月末)。

注目ポイント

□ **1-3月期決算は懸念されたほど落ち込みず**：20年1-3月期の業績は、売上高が前年同期比13%増の411.6億ドル、純利益は同3%増の68.4億ドルだった。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月に広告収入が落ち込み、増収率は4年半ぶりの低水準、純利益は前年同期に計上した17億ドル相当の制裁金が無くなり、増益を確保した。

□ **広告収入は落ち込むも、ユーザー数は急増**：同社CEOのサンダー・ピチャイCEOは新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「検索やYouTube、その他のアプリの利用は急増し、コロナ関連の検索数はピーク時にはNFLのスーパーボールの4倍にも達した」と言及。一方で「広告収入は3月から急減し、幾らかの広告事業の立ち上げは延期した」と述べた。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|------------------------------|----------------|----------------|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 1342.18 (04/29) | 実績PER | 28.0 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 1530.65 (20/02/19) | 株価売上高比率 | 5.6 (倍) | 2018/12 | 136,819 | 23 | 27,524 | 5 | 30,736 | 143 | 43.70 | 0.00 |
| 52週安値(日付) | 1009 (20/03/23) | PBR | 4.5 (倍) | 2019/12 | 161,857 | 18 | 34,231 | 24 | 34,343 | 12 | 18.00 | 0.00 |
| 時価総額 | 9,159億ドル 97兆7,133億円 | 税前提当利回り(%) | 無配 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 6.6 (過去6ヶ月間) 11.9 (過去1年間) | 配当成長率(%) | — (過去1年間) | 2019/Q1 | 36,339 | — | 6,608 | — | 6,657 | — | 9.50 | 0.00 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 17.8 (%) | 2020/Q1 | 41,159 | 13 | 7,977 | 21 | 6,836 | 3 | 9.87 | 0.00 |
| | | 株式ベータ | 0.89 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

フェイスブック(FB)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

25億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

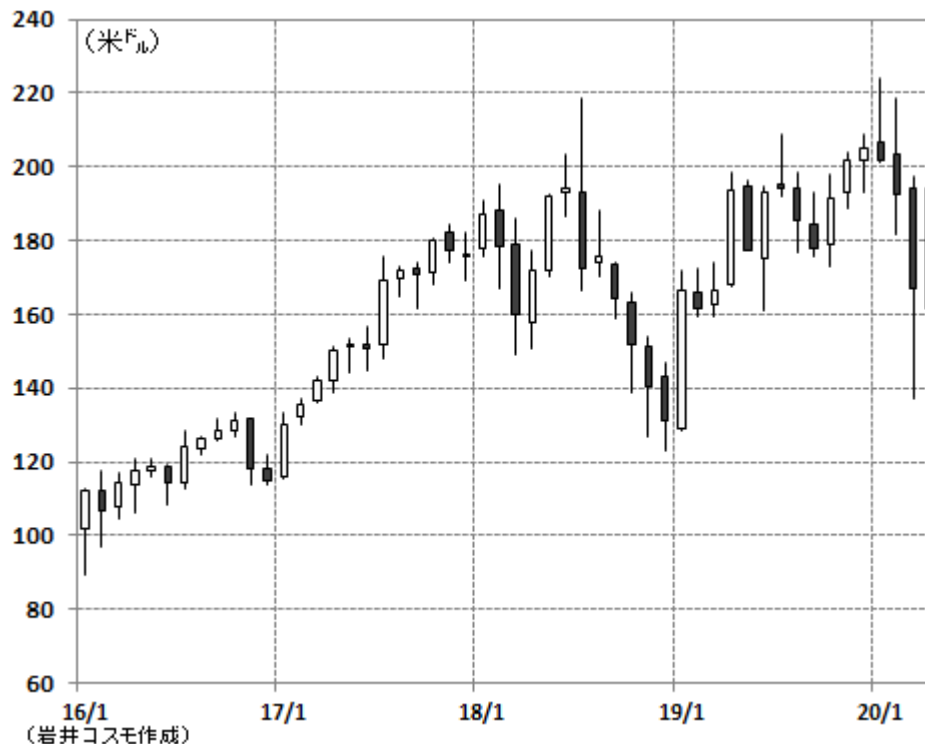
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動)は全世界で25.0億人(19年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。収入構成の99%が広告、1%が決済手数料などの広告外収入(前期実績)。対話アプリのワッツアップを14年10月に買収。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は48,268名(20年3月末)。

注目ポイント

□ **広告需要は一時急減も安定化の兆し**：20年1-3月期の売上高は前年同期比18%増の177.4億ドルと市場予想の172.7億ドルを上回った。3月24日の時点では広告事業が悪化していると明らかにしたが、今回の決算発表では「3月には広告収入が急減したものの、安定化の兆候が見られる」とした。

□ **ユーザー数は急増**：新型コロナウイルスの感染拡大を受け、多くの人々が外出を控えていることから、同社のフェイスブックやインスタグラム、ワッツアップなどのアプリの利用は急増。全てのアプリの3月のアクティブユーザー数は、平均23.6億人と昨年末の22.6億人から大幅に増加した。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-----------------------------|----------------|----------------|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 194.19 (04/29) | 実績PER | 23.6 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 224.2 (20/01/29) | 株価売上高比率 | 7.6 (倍) | 2018/12 | 55,838 | 37 | 24,913 | 23 | 15,920 | 39 | 7.57 | 0.00 |
| 52週安値(日付) | 137.11 (20/03/18) | PBR | 5.3 (倍) | 2019/12 | 70,697 | 27 | 23,986 | -4 | 18,485 | -16 | 6.43 | 0.00 |
| 時価総額 | 5,536億ドル 59兆0,574億円 | 税前提当利回り(%) | 無配 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 1.3 (過去6ヶ月間) 0.4 (過去1年間) | 配当成長率(%) | — (過去1年間) | 2019/Q1 | 15,077 | — | 3,317 | — | 2,429 | — | 0.85 | 0.00 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 21.9 (%) | 2020/Q1 | 17,737 | 18 | 5,893 | 78 | 4,902 | 102 | 1.71 | 0.00 |
| | | 株式ベータ | 0.95 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

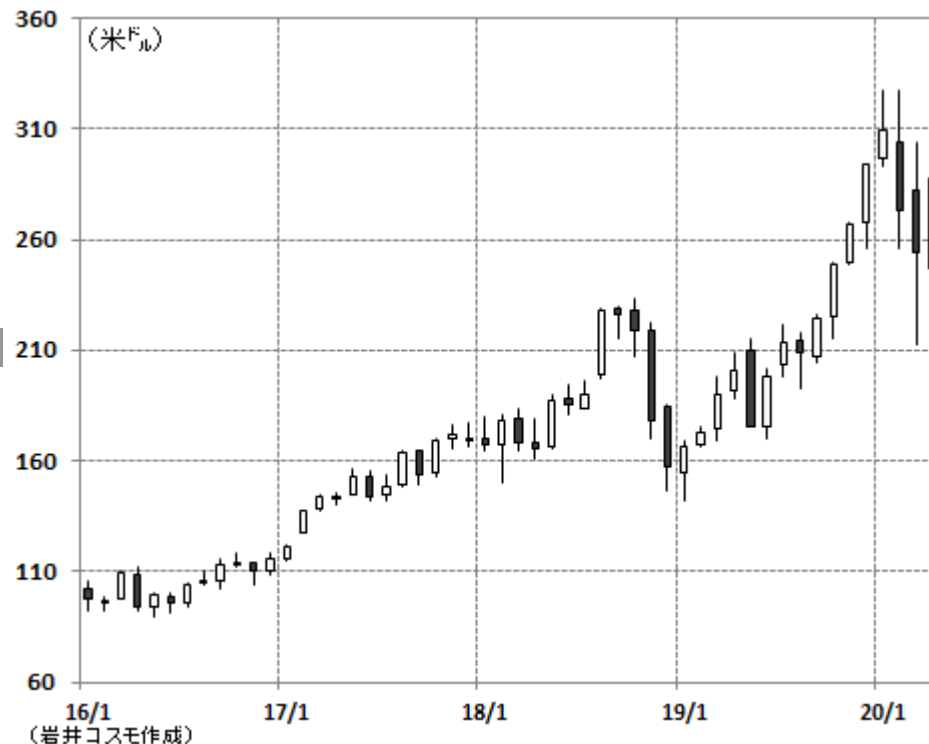
デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。5G対応iPhoneを投入予定

会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

- **第1四半期、売上高、最終利益は過去最高を更新**: 19年10-12月期決算は、売上高が前年同期比9%増の918億ドル、純利益は同11%増の222億ドルと、ともに四半期ベースでの過去最高を更新。主力のiPhoneが5四半期ぶりに増収に転じ業績をけん引した。
- **直営店を段階的に再開へ**: 同社のティアドラ・オブライエン上級副社長(小売担当)は、5月には営業を再開できる直営小売店が「大幅に増える」との見通しを示した。同社は3月、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、中国を除く全ての地域で店舗を休業にした。同氏は以前、5月上旬には米国内の少なくとも一部の地域で営業を再開させる意向を従業員に示していた。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 287.73 (04/29) | 実績PER | 22.7 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 327.85 (20/01/29) | 株価売上高比率 | 4.9 (倍) | 2018/09 | 265,595 | 16 | 70,898 | 16 | 59,531 | 23 | 11.91 | 2.72 |
| 52週安値(日付) | 170.27 (19/06/03) | PBR | 14.1 (倍) | 2019/09 | 260,174 | -2 | 63,930 | -10 | 55,256 | -7 | 11.89 | 3.04 |
| 時価総額 | 1兆2,590億ドル 1,34兆3,055億円 | 税前提当利回り(%) | 1.07 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 15.7 (過去6ヶ月間) 43.4 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 5.5 (過去1年間) | 2019/Q1 | 84,310 | — | 23,346 | — | 19,965 | — | 4.18 | 0.73 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 55.5 (%) | 2020/Q1 | 91,819 | 9 | 25,569 | 10 | 22,236 | 11 | 4.99 | 0.77 |
| | | 株式ベータ | 1.03 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ネットフリックス(NFLX)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

米国の動画配信サービス最大手。オリジナル・コンテンツの充実で世界の加入者獲得を推進

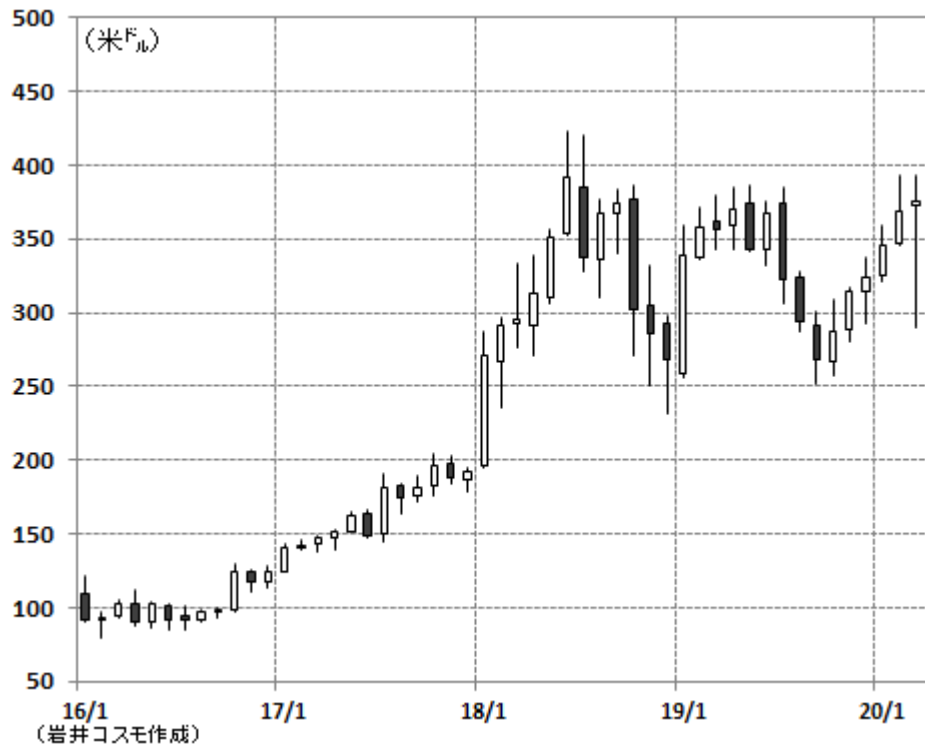
会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。現在の展開地域は190カ国超、有料加入者数は米国が6,104万人、海外が1億60万人(19年12月末)、19年の世界加入者当りの月次収入は前期比13%増の12.57ドル。

注目ポイント

□ **樂ごもり消費の恩恵を享受**: 20年1-3月期は、売上高は前年同期比28%増の57.7億ドル、純利益は同2.1倍の7.09億ドルだった。新型コロナウイルスの影響が世界中に広がる中、「家で過ごす時間」が突然増えたことにより有料会員数が急増、解約率も低下し純利益は2四半期ぶりに過去最高を更新。世界全体での有料会員数の増加幅は1,577万人に達し、会社想定の2倍を上回る好調ぶりだった。

□ **ディズニーの参入も会員離れ進まず**: ディズニーやワーナーメディアが米ストリーミング配信市場に本格参入するが、会員離れの懸念は薄まりつつある。コンテンツ制作費用の上昇を抑えながら良質な作品を提供すると同時に利益や現金収入を増やすことが求められている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル) | 411.89 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 449.445 (20/04/16) |
| 52週安値(日付) | 252.3 (19/09/24) |
| 時価総額 | 1,812億ドル 19兆3,252億円 |
| 株価変化率(%) | 43.3 (過去6ヶ月間) 11.2 (過去1年間) |

株価指標(バリュエーション)

| | |
|--------------|----------------|
| 実績PER | 83.4 (倍) |
| 株価売上高比率 | 8.4 (倍) |
| PBR | 21.5 (倍) |
| 税前配当利回り(%) | 無配 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | — (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 31.6 (%) |
| 株式ベータ | 0.87 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2018/12 | 15,794 | 35 | 1,605 | 91 | 1,211 | 117 | 2.68 | 0.00 |
| 2019/12 | 20,156 | 28 | 2,604 | 62 | 1,867 | 54 | 4.13 | 0.00 |

四半期業績

| | | | | | | | | |
|---------|-------|----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 2019/Q1 | 4,521 | — | 459 | — | 344 | — | 0.76 | 0.00 |
| 2020/Q1 | 5,768 | 28 | 958 | 109 | 709 | 106 | 1.57 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アマゾン・ドット・コム (AMZN)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネット小売

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

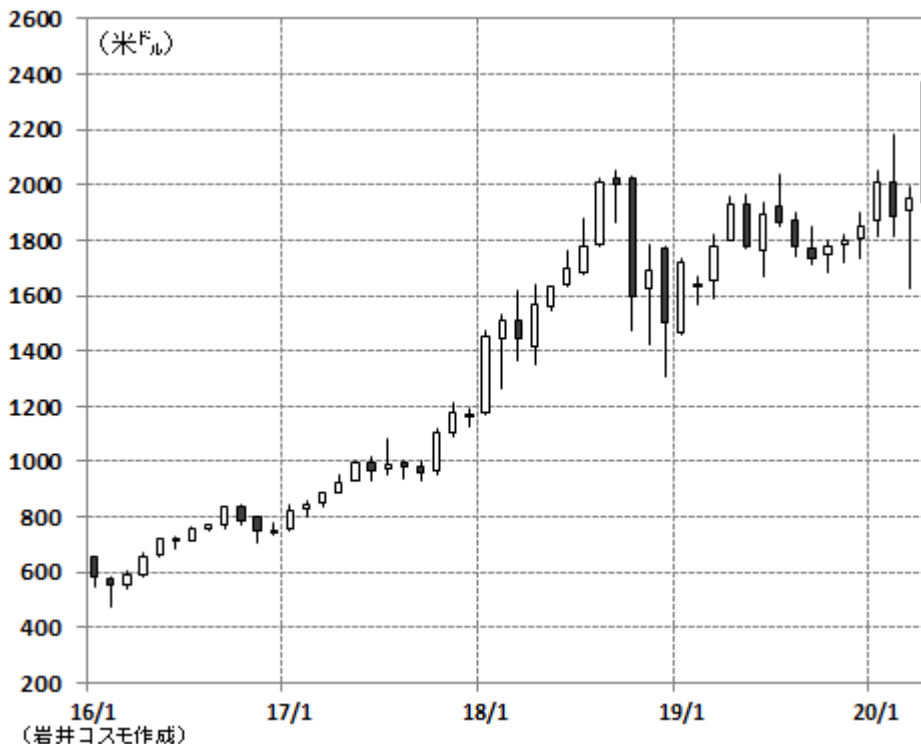
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「Kindleファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は1.5億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **利益の伸び悩み懸念を払拭する決算**: 19年10-12月期は売上高が前年同期比21%増の874億ドル、純利益は同8%増の32.7億ドル、1株利益が6.47ドルと市場予想の4.11ドルを大きく上回る着地。書き入れ時の年末商戦でネット通販の利用が一段と広がった他、クラウドサービスも堅調に推移した。

□ **新型コロナウイルスを受けた需要急増に対応**: 同社は新型コロナウイルスの感染拡大を受けた外出制限措置でネット通販需要が急激に高まっており、物流業務を強化。3月に発表した一時雇用とフルタイムでの計10万人の募集が埋まったとした上で、追加で7.5万人を採用するとした。追加コストは5億ドル余りになるとの見通し。



株価チャート (2016以降・月足)

株価データ

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル) | 2372.71 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 2460.6 (20/04/16) |
| 52週安値(日付) | 1627 (20/03/16) |
| 時価総額 | 11,829億ドル 1,26兆1,870億円 |
| 株価変化率(%) | 33.5 (過去6ヶ月間) 23.2 (過去1年間) |

株価指標(バリュエーション)

| | |
|--------------|----------------|
| 実績PER | 103.1 (倍) |
| 株価売上高比率 | 4.2 (倍) |
| PBR | 19.0 (倍) |
| 税前配当利回り(%) | 無配 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | — (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 21.9 (%) |
| 株式ベータ | 0.81 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2018/12 | 232,887 | 31 | 12,421 | 203 | 10,073 | 232 | 20.14 | 0.00 |
| 2019/12 | 280,522 | 20 | 14,541 | 17 | 11,588 | 15 | 23.01 | 0.00 |

四半期業績

| | | | | | | | | |
|---------|--------|----|-------|---|-------|---|------|------|
| 2018/Q4 | 72,383 | — | 3,786 | — | 3,027 | — | 6.04 | 0.00 |
| 2019/Q4 | 87,437 | 21 | 3,879 | 2 | 3,268 | 8 | 6.47 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手。クラウド事業が好調

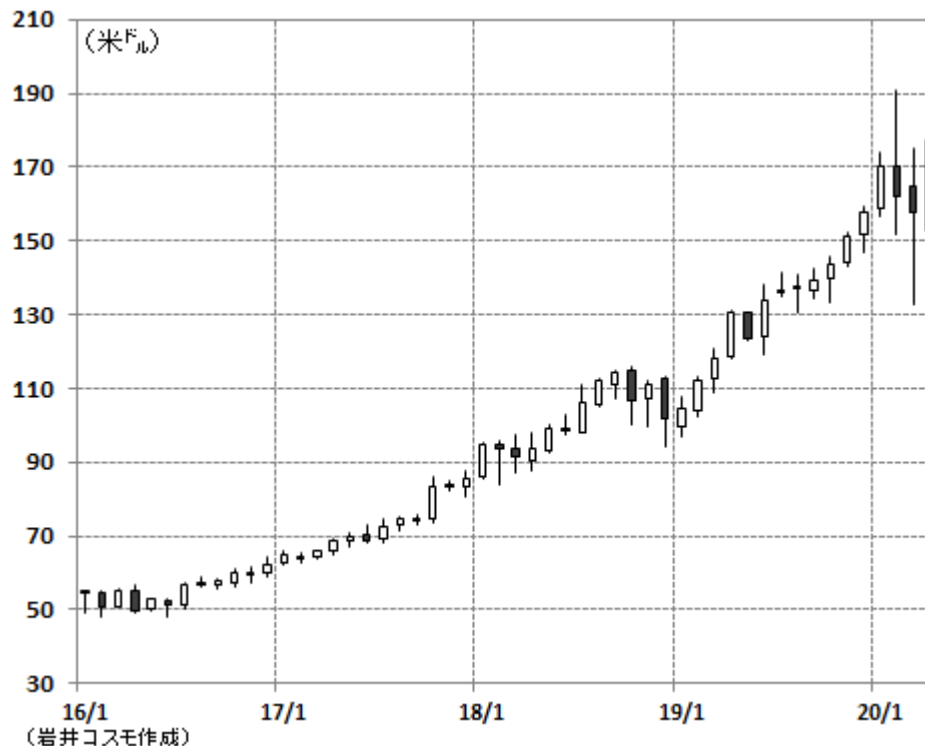
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したサテラ新CEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: 同社はクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが好調。

□ **1-3月期、テレワークでクラウド需要増加**: 20年1-3月期の売上高は、前年同期比15%増の350億ドルと市場予想の336.9億ドルを上回った。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、テレワークへの移行で対応に必要なネットベースでのソフトウェアの利用やクラウドサービスの需要が高まったことが追い風となった。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 177.43 (04/29) | 実績PER | 31.4 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 190.66 (20/02/11) | 株価売上高比率 | 9.8 (倍) | 2018/06 | 110,360 | 14 | 35,058 | 21 | 16,571 | -35 | 2.13 | 1.68 |
| 52週安値(日付) | 119.04 (19/06/03) | PBR | 11.8 (倍) | 2019/06 | 125,843 | 14 | 42,959 | 23 | 39,240 | 137 | 5.06 | 1.84 |
| 時価総額 | 1兆3,455億ドル 1,43兆5,411億円 | 税前提当利回り(%) | 1.15 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 23.8 (過去6ヶ月間) 35.9 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 10.2 (過去1年間) | 2019/Q3 | 30,571 | — | 10,341 | — | 8,809 | — | 1.14 | 0.46 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 44.2 (%) | 2020/Q3 | 35,021 | 15 | 12,975 | 25 | 10,752 | 22 | 1.40 | 0.51 |
| | | 株式ベータ | 0.91 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

セールスフォース・ドットコム(CRM)

顧客管理ソフトに強みを持つクラウド專業大手

上場市場

ニューヨーク

セクター

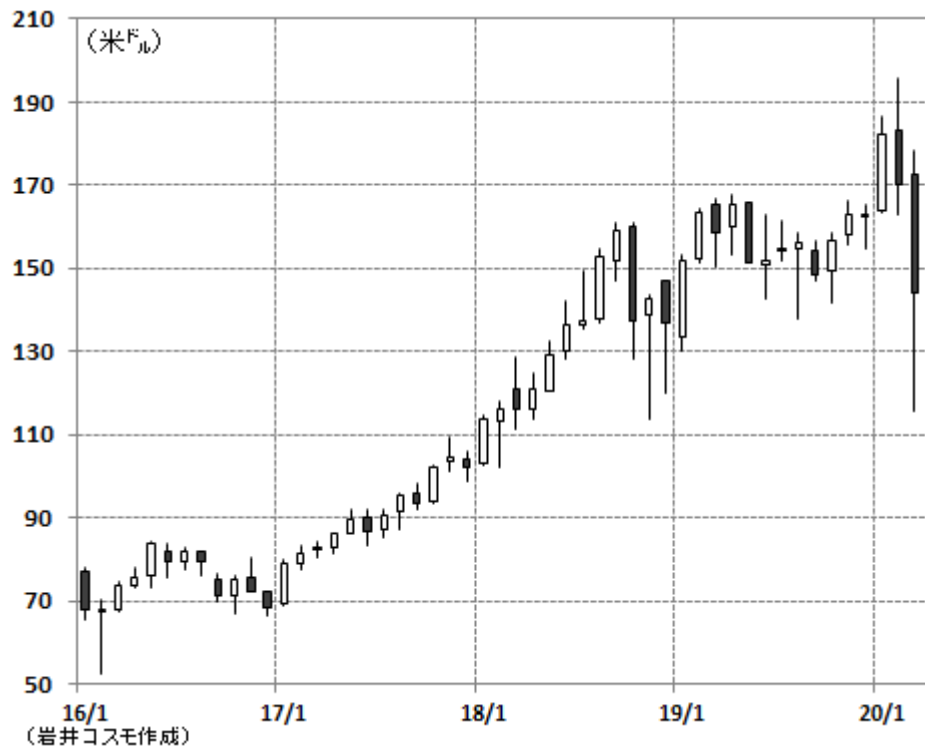
ソフトウェア

会社概要

インターネット経由でソフト機能を企業向けに提供するクラウドコンピューティング・サービスの專業大手で先駆的存在。CRM(顧客管理)や営業支援ツールはクラウドベースで世界で最も利用されており、日本ではトヨタ自動車、日本郵政グループなどが大手顧客。ほか中堅・中小企業まであらゆる業種・規模に対応。地域別売上構成(前期)は米州71%、欧州20%、アジア太平洋10%、99年設立、04年ニューヨーク上場。

注目ポイント

- **クラウド事業の先駆け、サービス範囲も拡大**: 営業支援・顧客管理を柱に複数のサービスを組み合わせた販売が奏功、カスタマーサービスやクラウドアプリ開発支援、マーケティング分野のクラウド事業も伸びている。顧客はセールスフォースを選ぶ理由として、自社の売上拡大や顧客満足度やマーケティング能力の向上、システムの利用し易さ等を挙げている。
- **タブロー・ソフトウェア買収**: 同社はデータ分析ツールのタブロー・ソフトウェアを19年8月に買収した。タブローは企業向けにデータ分析ツールを提供しており、同社が得意としている顧客管理やマーケティング支援と組み合わせることによって、より付加価値の高いサービスの提供を目指す。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | |
|-----------|------------------------------|
| 株価(米ドル) | 160.43 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 195.7 (20/02/20) |
| 52週安値(日付) | 115.43 (20/03/18) |
| 時価総額 | 1,436億ドル 15兆3,176億円 |
| 株価変化率(%) | 2.5 (過去6ヶ月間) -3.0 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) | |
|----------------|----------------|
| 実績PER | N/A (倍) |
| 株価売上高比率 | 7.8 (倍) |
| PBR | 4.2 (倍) |
| 税前提当利回り(%) | 無配 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | — (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 0.5 (%) |
| 株式ベータ | 1.02 (対S&P500) |

| 通期業績 | | | | | | | | |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 2019/01 | 13,282 | 26 | 535 | 18 | 1,110 | 208 | 1.43 | 0.00 |
| 2020/01 | 17,098 | 29 | 297 | -44 | 126 | -89 | 0.15 | 0.00 |
| 四半期業績 | | | | | | | | |
| 2019/Q4 | 3,603 | — | 137 | — | 362 | — | 0.46 | 0.00 |
| 2020/Q4 | 4,851 | 35 | -36 | 赤転 | -248 | 赤転 | -0.28 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

電子計測機器の世界最大手。次世代通信5G投資の恩恵を享受

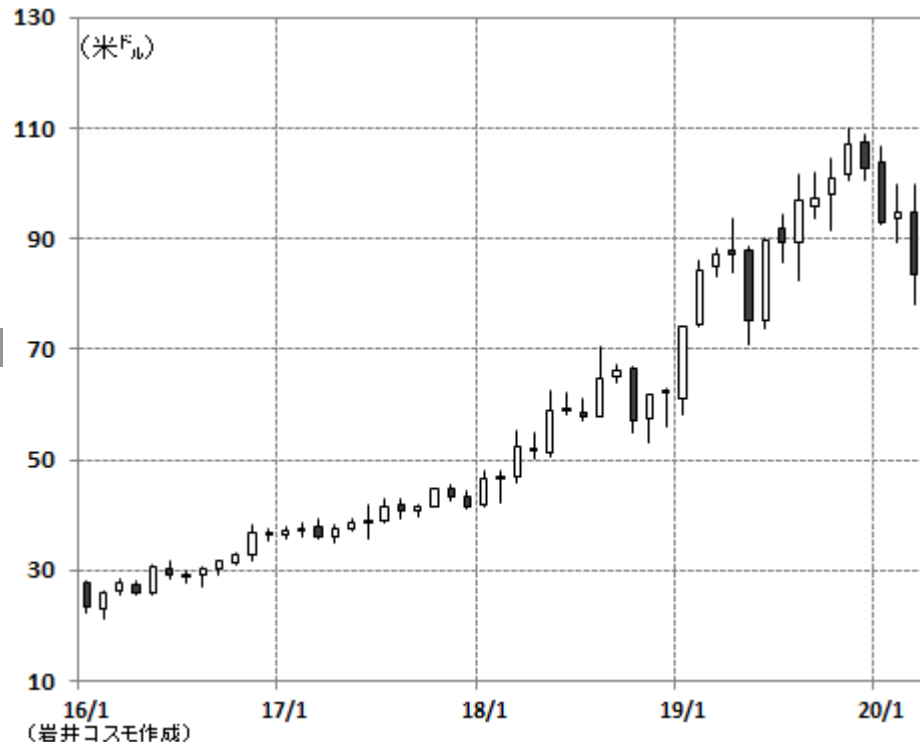
会社概要

電子計測器の世界最大手。14年に総合分析機器のアシレント・テクノロジーズから分離独立。アシレント自体も1999年にヒューレット・パッカドの分離独立企業であり、名門の流れを受け継ぐ。豊富な人材と技術を武器に電子計測機器の販売や専門性の高いコンサルサービスを提供。17年にソフトウェアの検査・評価に強みを持つイクシア社を買収し業容の拡大を図る。従業員数は約13,600名(19年10月末)。

注目ポイント

□ **5G時代の恩恵を享受**: 売上の約3割強を占める通信分野向け事業は、通信事業者向けに様々な通信計測機器の販売やコンサルティング業務を展開。19年11-1月期決算では、売上高は前年同期比9%増の11.0億ドル、純利益は同43%増の1.63億ドル、一部項目を除く調整後1株利益は同35%増の1.26ドルだった。高速通信規格「5G」需要に加え、航空宇宙防衛関連や半導体検査も好調だった。

□ **計測器の世界的なガリバー**: 通信分野での世界シェアは25%(同社推定)で世界トップ。キーサイトはNTTドコモ、ソフトバンクや韓国サムスン電子などの世界中の企業と提携、協業を加速させている。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|--------------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株 価(米ドル) | 98.91 (04/29) | 実績PER | 28.3 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 110 (19/11/18) | 株価売上高比率 | 4.2 (倍) | 2018/10 | 3,878 | 22 | -394 | 赤転 | 165 | 62 | 0.86 | 0.00 |
| 52週安値(日付) | 71.04 (19/05/29) | PBR | 5.9 (倍) | 2019/10 | 4,303 | 11 | 711 | 黒転 | 621 | 276 | 3.25 | 0.00 |
| 時 価 総 額 | 185億ドル 1兆9,773億円 | 税前配当利回り(%) | 無配 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | -2.0 (過去6ヶ月間) 13.7 (過去1年間) | 配当成長率(%) | — (過去1年間) | 2019/Q1 | 1,006 | — | 121 | — | 114 | — | 0.60 | 0.00 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 23.2 (%) | 2020/Q1 | 1,095 | 9 | 203 | 68 | 163 | 43 | 0.86 | 0.00 |
| | | 株式ベータ | 0.79 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

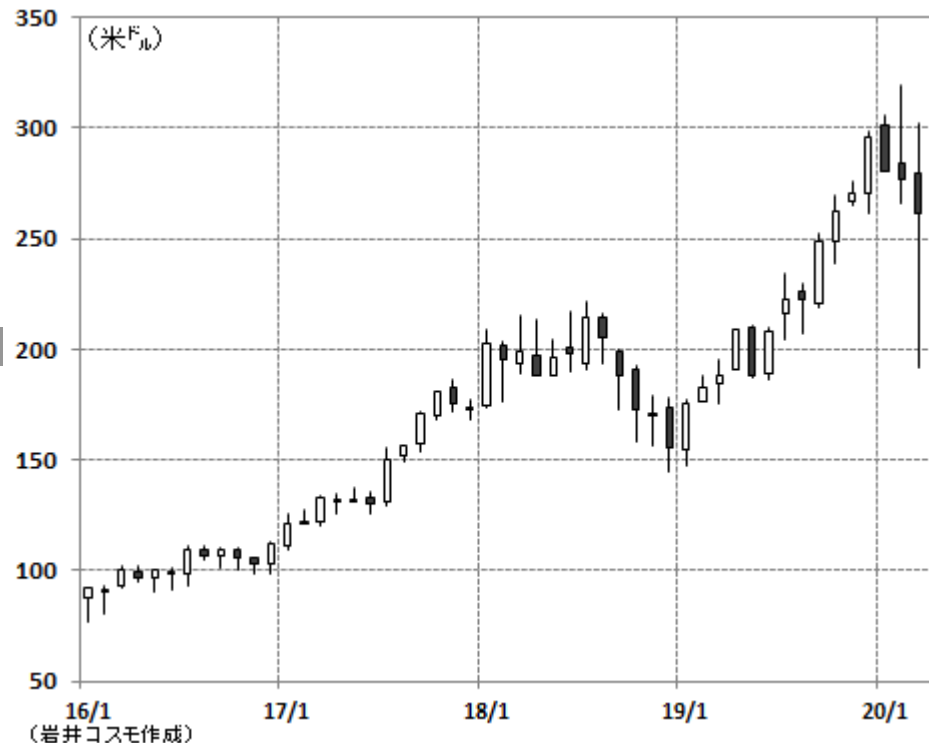
オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

会社概要

オランダの半導体製造装置メーカー。半導体製造工程の前工程の装置メーカーの2018年の売上規模で、首位の米アプライト・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンウエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホフェン、従業員数は24,900人(19年12月末)。

注目ポイント

- **EUV露光で世界をリード**: 世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、前19年度は26台、金額にして28億ユーロを出荷。
- **業績見通しの公表は控える**: 同社は4月15日に発表した決算で、新型コロナウイルスの感染拡大による不確実性の高まりの中で、4-6月期の業績見通しの公表を控えた。一方で、「第2四半期は良い四半期になる可能性があり、第1四半期から50%の増収が見込めそう」とし、楽観的な見方を示した。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル) | 303.71 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 319.22 (20/02/14) |
| 52週安値(日付) | 186.39 (19/06/03) |
| 時価総額 | 1,293億ドル 13兆7,913億円 |
| 株価変化率(%) | 15.9 (過去6ヶ月間) 45.4 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) | |
|----------------|----------------|
| 実績PER | 44.8 (倍) |
| 株価売上高比率 | 9.8 (倍) |
| PBR | 9.5 (倍) |
| 税前提当利回り(%) | 0.96 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | 12.1 (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 21.5 (%) |
| 株式ベータ | 1.15 (対S&P500) |

| 通期業績 | | | | | | | | |
|---------|----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|---------------|-------------|
| 決算期 | 売上高 (百万ユーロ) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ユーロ) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ユーロ) | 前同比 (%) | 1株利益 (ユーロ) | 配当 (ユーロ) |
| 2018/12 | 10,944 | 22 | 2,965 | 22 | 2,592 | 25 | 6.08 | 1.40 |
| 2019/12 | 11,820 | 8 | 2,791 | -6 | 2,592 | 0 | 6.15 | 3.15 |
| 四半期業績 | | | | | | | | |
| 2019/Q1 | 2,229 | — | 334 | — | 355 | — | 0.84 | — |
| 2020/Q1 | 2,441 | 9 | 427 | 28 | 391 | 10 | 0.93 | — |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

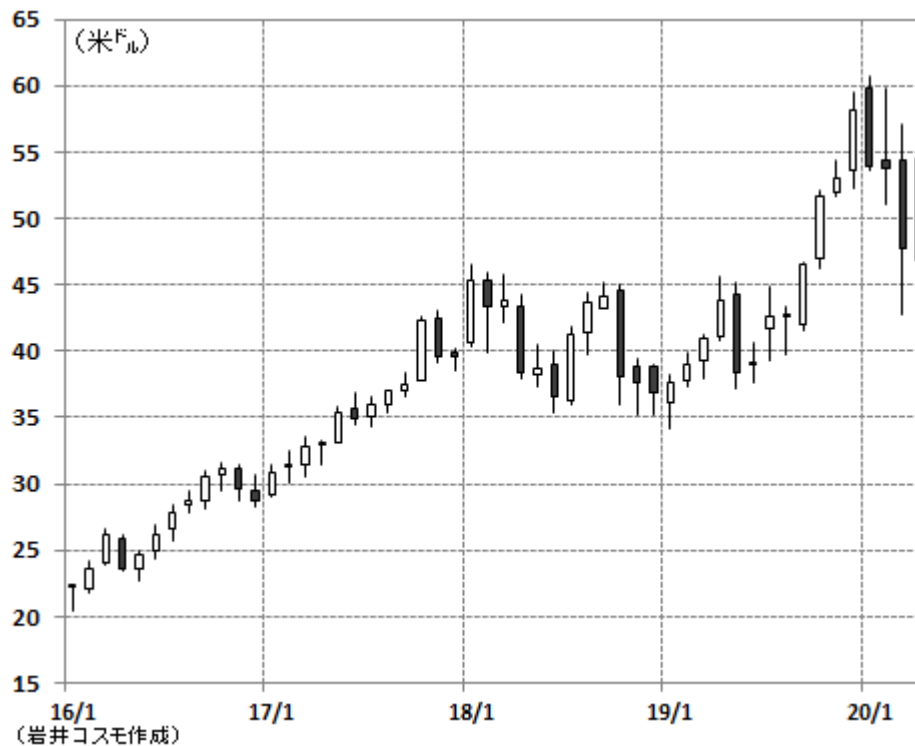
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計、製造、販売を一切行なわないことで、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして、2018年には481の顧客企業を対象に、10,436個の製品を製造。同社が製造する半導体はコンピュータ、通信、産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用されている。

注目ポイント

- **主要顧客は世界的企業**: 主要顧客には、アップル、クアルコム、ファーウェイ、エヌビディア、アドバンスト・マイクロ・デバイス等、世界的大企業が名を連ねている。これらの企業はスマホ、サーバ等で使用される最高水準の半導体の製造を同社に委託している。中でも最大顧客のアップルは全売上高の20%程度を占めていると見られる。
- **微細化プロセスで先行**: 半導体業界では現在7nm製造プロセスへの移行を急速に進めているが、多くの企業は実現出来ておらず、同社は7nmプロセスで業界をリードする存在。2020年前半には5nmプロセス製品の量産を開始すべく、その準備を着々と進めている。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|------------------------------|----------------|----------------|--------------|-----------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|----------------|--------------|
| 株価(米ドル) | 54.48 (04/29) | 実績PER | 21.1 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万台湾ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万台湾ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万台湾ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (台湾ドル) | 配当 (台湾ドル) |
| 52週高値(日付) | 60.64 (20/01/14) | 株価売上高比率 | 7.3 (倍) | 2018/12 | 1,031,474 | — | 383,624 | — | 351,131 | — | 67.71 | 40.00 |
| 52週安値(日付) | 37.185 (19/05/29) | PBR | 5.0 (倍) | 2019/12 | 1,069,985 | 4 | 372,701 | -3 | 345,264 | -2 | 66.58 | 50.00 |
| 時価総額 | 2,825億ドル 30兆1,411億円 | 税前提当利回り(%) | 3.06 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 5.5 (過去6ヶ月間) 24.3 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 17.7 (過去1年間) | 2019/Q1 | 218,704 | — | 64,266 | — | 61,394 | — | 11.85 | — |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 23.4 (%) | 2020/Q1 | 310,597 | 42 | 128,522 | 100 | 116,987 | 91 | 22.55 | — |
| | | 株式ベータ | 0.80 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

クアルコム(QCOM)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体開発

5G対応スマートフォンの生産拡大で恩恵享受へ

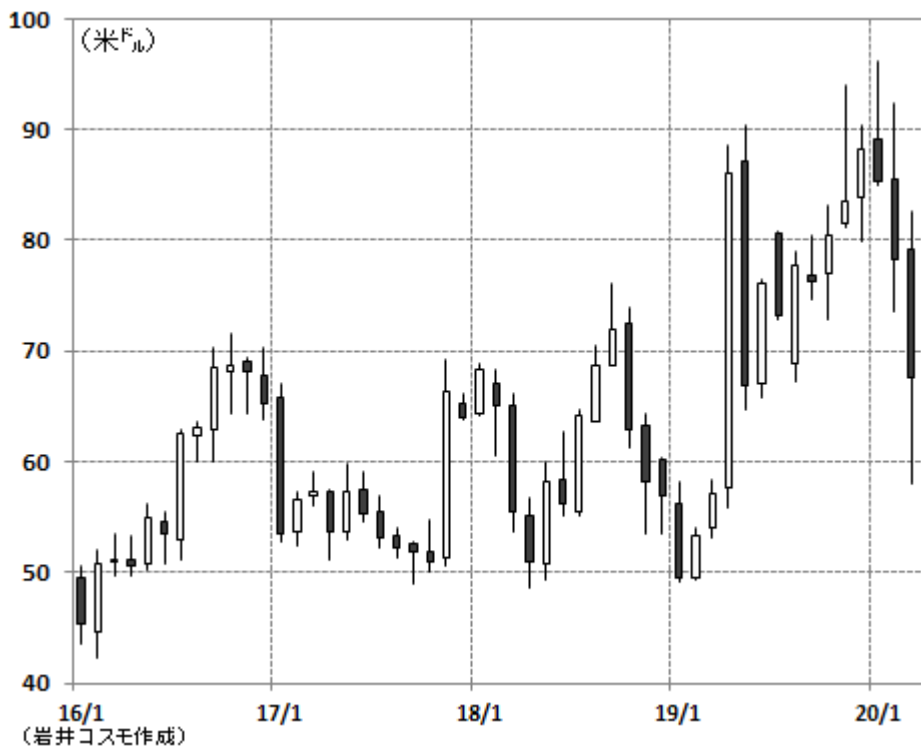
会社概要

1985年創業の移動体通信技術で強みを持つ米半導体大手。CDMA(符号分割多重接続)方式やOFDMA(直交周波数分割多元接続)方式の無線通信の知的財産をライセンス供与。携帯端末メーカーへ自社開発半導体の販売とライセンス供与先メーカーの携帯電話端末販売台数に対する特許料収入が収益の柱。5G関連の通信分野の特許も多数保有。従業員数は約37,000人(19年9月末時点)。

注目ポイント

□ **アップルと電撃和解**: 巨額のライセンス契約の支払いを巡り2年前から訴訟合戦を繰り広げたアップルと同社は19年4月に全面的に和解。アップルが一時金を支払い、複数年契約を締結。電波の送受信を担うアンテナと頭脳のプロセッサとの間でデータをやり取りする5G対応の通信モテムをアップルのiPhone向けに供給することになった。

□ **中国スマホ市場は通常水準近くに回復**: 4月29日発表の決算で、20年4-6月期の売上高は44~52億ドル(市場予想47.7億ドル)を見込むとした。同社CEOは最大のスマートフォン市場である中国で需要が通常の水準近く回復していると指摘、今後自信を示した。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル) | 78.97 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 96.165 (20/01/17) |
| 52週安値(日付) | 58 (20/03/18) |
| 時価総額 | 888億ドル 9兆4,770億円 |
| 株価変化率(%) | -1.8 (過去6ヶ月間) -8.3 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) | |
|----------------|----------------|
| 実績PER | 12.4 (倍) |
| 株価売上高比率 | 3.8 (倍) |
| PBR | 20.0 (倍) |
| 税前列当利回り(%) | 3.29 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | 0.0 (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 104.4 (%) |
| 株式ベータ | 0.99 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2018/09 | 22,611 | 2 | 621 | -76 | -4,964 | 赤転 | -3.39 | 2.38 |
| 2019/09 | 24,273 | 7 | 7,667 | 1,135 | 4,386 | 黒転 | 3.59 | 2.48 |

四半期業績

| | | | | | | | | |
|---------|-------|---|-----|---|-----|-----|------|------|
| 2019/Q2 | 4,982 | — | 940 | — | 663 | — | 0.55 | 0.62 |
| 2020/Q2 | 5,216 | 5 | 991 | 5 | 468 | -29 | 0.41 | 0.62 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)
エヌビディア(NVDA)

上場市場
ナスダック

セクター
半導体開発

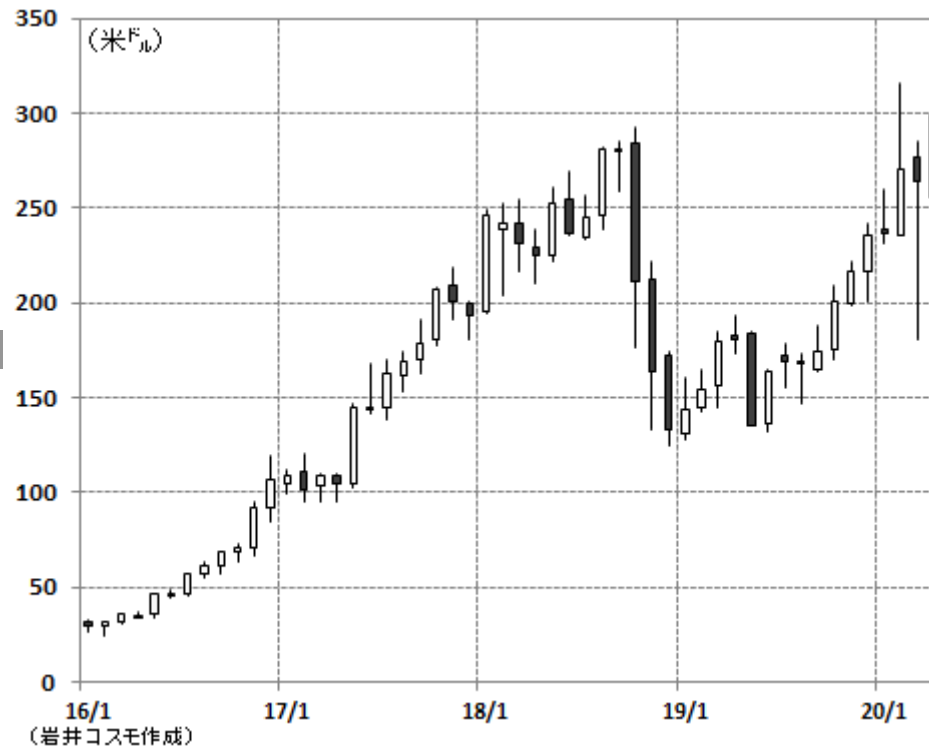
「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

会社概要

1993年設立の米国の半導体メカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成はゲーム市場向けが51%、視覚化技術に関するプロ向けが11%、AIを含むデータセンター向けが27%、自動車向けが6%、OEM&IPが5%(20年1月期)。

注目ポイント

- 「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- 5四半期ぶりの増収増益: 19年11-1月期業績は前年同期比41%増収、68%最終増益となり、5四半期ぶりの増収増益を達成。主力のゲーム市場向けがVR(仮想現実)関連の好調で同56%増の14.9億ドルと回復。データセンター向けが同43%増の9.68億ドルを売上げ、過去最高を更新。今後イスラエルの半導体設計会社メラックスの買収が実現すればス・パ・コンピュータ用の半導体の開発強化に繋がる見込み。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル) | 298.46 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 316.32 (20/02/20) |
| 52週安値(日付) | 132.64 (19/06/03) |
| 時価総額 | 1,828億ドル 19兆5,014億円 |
| 株価変化率(%) | 48.5 (過去6ヶ月間) 64.9 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) | |
|----------------|----------------|
| 実績PER | 65.1 (倍) |
| 株価売上高比率 | 16.7 (倍) |
| PBR | 15.0 (倍) |
| 税前提当利回り(%) | 0.21 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | 3.2 (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 25.9 (%) |
| 株式ベータ | 1.30 (対S&P500) |

| 通期業績 | | | | | | | | |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 2019/01 | 11,716 | 21 | 3,804 | 19 | 4,141 | 36 | 6.63 | 0.610 |
| 2020/01 | 10,918 | -7 | 2,846 | -25 | 2,796 | -32 | 4.52 | 0.640 |
| 四半期業績 | | | | | | | | |
| 2019/Q4 | 2,205 | — | 294 | — | 567 | — | 0.92 | 0.160 |
| 2020/Q4 | 3,105 | 41 | 990 | 237 | 950 | 68 | 1.53 | 0.160 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)
ザリンクス(XLNX)

上場市場
ナスダック

セクター
半導体製造

ソフトウェアにより回路を変更することができる半導体の大手。データセンターや5G関連の恩恵享受

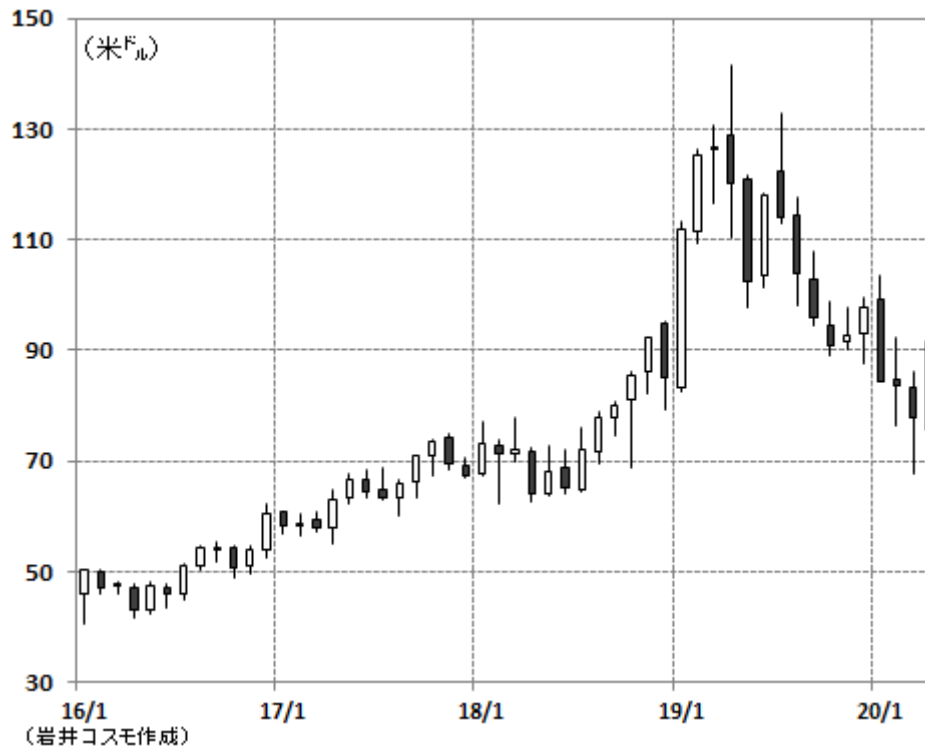
会社概要

ユーザー自身が論理回路をソフトウェアで設定することが可能なロジックLSI(大規模集積回路)であるPLD(プログラム可能論理デバイス)の大手。PLDの中でも機器に組み込まれた状態で回路変更が可能なFPGAの最大手。生産は主に台湾TSMCに委託し、自社生産設備をもたないファブレスメーカー。1984年創業、本社はカリフォルニア州、従業員数は4,433名(19年3月時点)。

注目ポイント

□**データセンターや5G関連の恩恵を享受**: PLD半導体は、回路が固定されていない大規模集積回路であり、ソフトウェアにより回路を何度も変更することができる特長を持つ。携帯電話の基地局やデジタル家電の試作品向け等に広く使われてきた。近年はデータセンターの計算処理にもPLDの一種であるFPGAが採用され、用途が拡大中。

□**4-6月期業績見通し**: 4-6月期の業績見通しについては、売上高が前年同期比22~15%減の6.6~7.2億ドル(市場予想7.42億ドル)とした。医療機器向けの需要が期待されるものの、それ以外は低調を想定。唯一「データセンター」向けが年間2桁成長を見込めるとした。21年3月期通期に関しては、見通しの公表を見送った。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|--------------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 91.7 (04/29) | 実績PER | 28.3 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 133 (19/07/24) | 株価売上高比率 | 7.3 (倍) | 2019/03 | 3,059 | — | 957 | — | 890 | — | 3.47 | 1.40 |
| 52週安値(日付) | 67.68 (20/03/12) | PBR | 9.9 (倍) | 2020/03 | 3,163 | 3 | 792 | -17 | 793 | -11 | 3.11 | 1.48 |
| 時価総額 | 228億ドル 2兆4,343億円 | 税前提当利回り(%) | 1.66 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 1.1 (過去6ヶ月間) -23.7 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 2.8 (過去1年間) | 2019/Q4 | 828 | — | 250 | — | 245 | — | 0.95 | 0.36 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 30.6 (%) | 2020/Q4 | 756 | -9 | 178 | -29 | 162 | -34 | 0.65 | 0.37 |
| | | 株式ベータ | 0.77 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ウェスタン・デジタル(WDC)

上場市場

ナスダック

セクター

ストレージ(記憶装置)

HDDやフラッシュメモリの業界大手。スマホやエッジコンピューティング市場の成長の恩恵享受

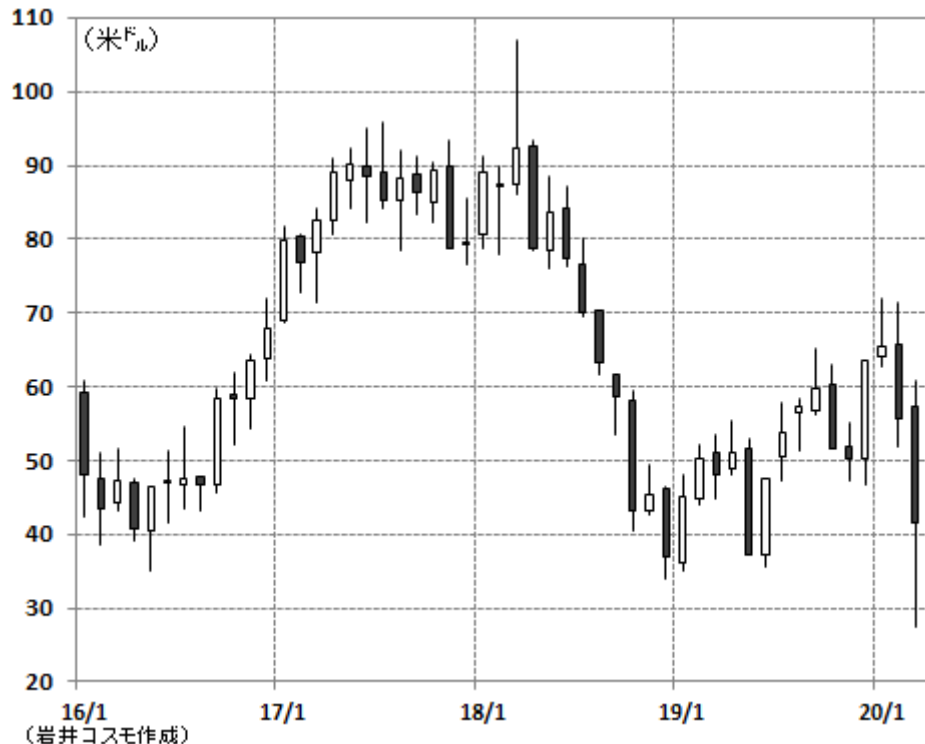
会社概要

HDD(ハードディスク駆動装置)業界2位、NAND型フラッシュメモリ業界3位のストレージ製品の世界大手。ストレージ製品世界売上では韓国サムスン電子に次ぐ規模。PC産業が隆盛となった90年代にHDD事業に専念、2011年に日立製作所からHDD部門を買収、2016年に米サンディスクを買収し、フラッシュメモリ事業を取得。本社はカリフォルニア州サンゼ、19年6月末の社員数は約61,800名。

注目ポイント

□ **サンディスクを買収、フラッシュメモリ事業進出**：16年5月に当時フラッシュメモリの大手で旧東芝メモリ(現キオクシア)と協業していたサンディスクを買収。フラッシュメモリを用いた新しい記憶装置SSD(ソリッドステートドライブ)分野を強化、HDDとSSDの統合型製品を提供できる同社の強みとなった。製品別売上構成(前期)はHDD53%、フラッシュメモリ47%。同買収後はSSDを含むフラッシュメモリ部門を強化中。

□ **エッジコンピューティングや5Gスマホの市場成長の恩恵享受**：クラウド市場の拡大に加えて自動運転等で高まるエッジ(端末側)の処理需要の高まりや5G対応のスマホによるストレージ製品の市況改善に期待。



株価チャート(2016以降・月足)

株価データ

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル) | 47.73 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 72 (20/01/23) |
| 52週安値(日付) | 27.41 (20/03/19) |
| 時価総額 | 143億ドル 1兆5,221億円 |
| 株価変化率(%) | -7.6 (過去6ヶ月間) -6.6 (過去1年間) |

株価指標(バリュエーション)

| | |
|--------------|----------------|
| 実績PER | - (倍) |
| 株価売上高比率 | 0.9 (倍) |
| PBR | 1.5 (倍) |
| 税前配当利回り(%) | 4.19 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | 0.0 (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | -11.8 (%) |
| 株式ベータ | 1.51 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2018/06 | 20,647 | 8 | 3,617 | 85 | 675 | 70 | 2.20 | 2.00 |
| 2019/06 | 16,569 | -20 | 87 | -98 | -754 | 赤転 | -2.58 | 2.00 |

四半期業績

| | | | | | | | | |
|---------|-------|---|-----|-----|------|----|-------|------|
| 2019/Q2 | 4,233 | — | 176 | — | -487 | — | -1.68 | 0.50 |
| 2020/Q2 | 4,234 | 0 | 50 | -72 | -139 | 赤継 | -0.47 | 0.50 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

インテュイティブ・サージカル(ISRG)

上場市場

ナスダック

セクター

医療設備

外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが日本など海外中心に伸長

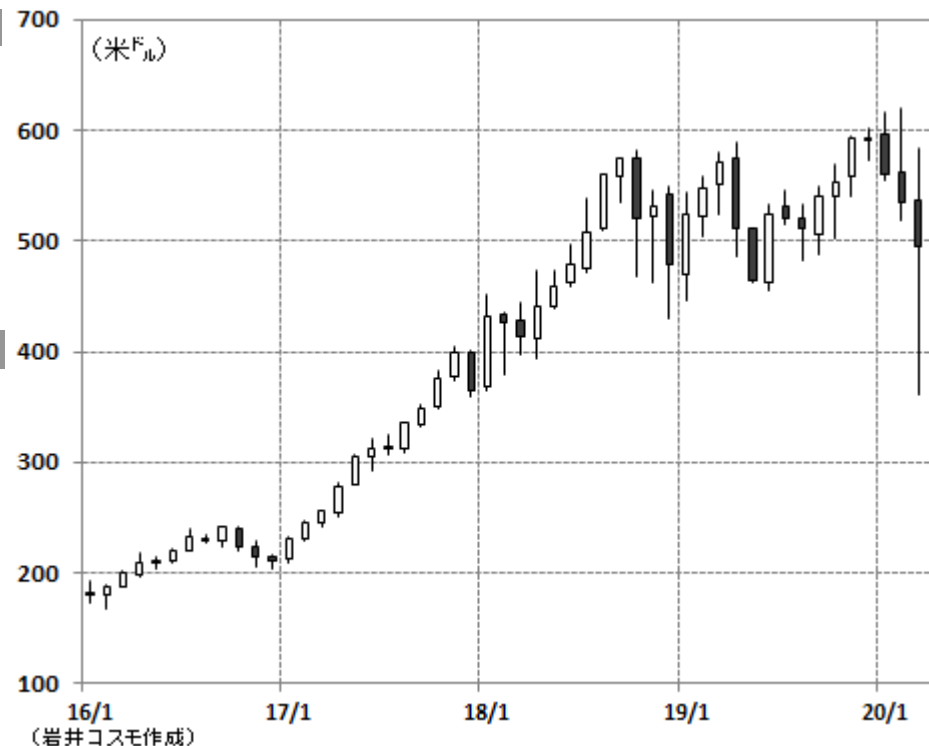
会社概要

「ダ・ヴィンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供するのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。19年末時点の稼働状況は、全世界で5,582台、うち米国3,531台、海外が2,051台。19年度全世界の手術件数実績は約123万件。日本は約350台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ヴィンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **新型コロナウイルスの影響**: 欧米では感染拡大のため、医療資源の限界に達し、売上成長の目安となる1-3月期の世界の手術件数は前年同期比10%増と前四半期(+19%)から鈍化、3月後半の最後の2週間の落ち込みが大きかった。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

| | |
|-----------|------------------------------|
| 株価(米ドル) | 519.72 (04/29) |
| 52週高値(日付) | 619 (20/02/20) |
| 52週安値(日付) | 360.5 (20/03/23) |
| 時価総額 | 606億ドル 6兆4,657億円 |
| 株価変化率(%) | -6.0 (過去6ヶ月間) 1.8 (過去1年間) |

株価指標(バリュエーション)

| | |
|--------------|----------------|
| 実績PER | 46.6 (倍) |
| 株価売上高比率 | 13.1 (倍) |
| PBR | 7.1 (倍) |
| 税前提当利回り(%) | 無配 (直近年率) |
| 配当成長率(%) | — (過去1年間) |
| 株主資本利益率(ROE) | 17.9 (%) |
| 株式ベータ | 1.23 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2018/12 | 3,724 | 19 | 1,199 | 13 | 1,128 | 68 | 9.49 | 0.00 |
| 2019/12 | 4,479 | 20 | 1,375 | 15 | 1,379 | 22 | 11.54 | 0.00 |

四半期業績

| | | | | | | | | |
|---------|-------|----|-----|----|-----|---|------|------|
| 2019/Q1 | 974 | — | 252 | — | 307 | — | 2.56 | 0.00 |
| 2020/Q1 | 1,100 | 13 | 283 | 12 | 314 | 2 | 2.62 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ビザ(V)

上場市場

ニューヨーク

セクター

決済サービス

クレジットカード決済サービス世界最大手。現金から電子決済への移行による恩恵を享受

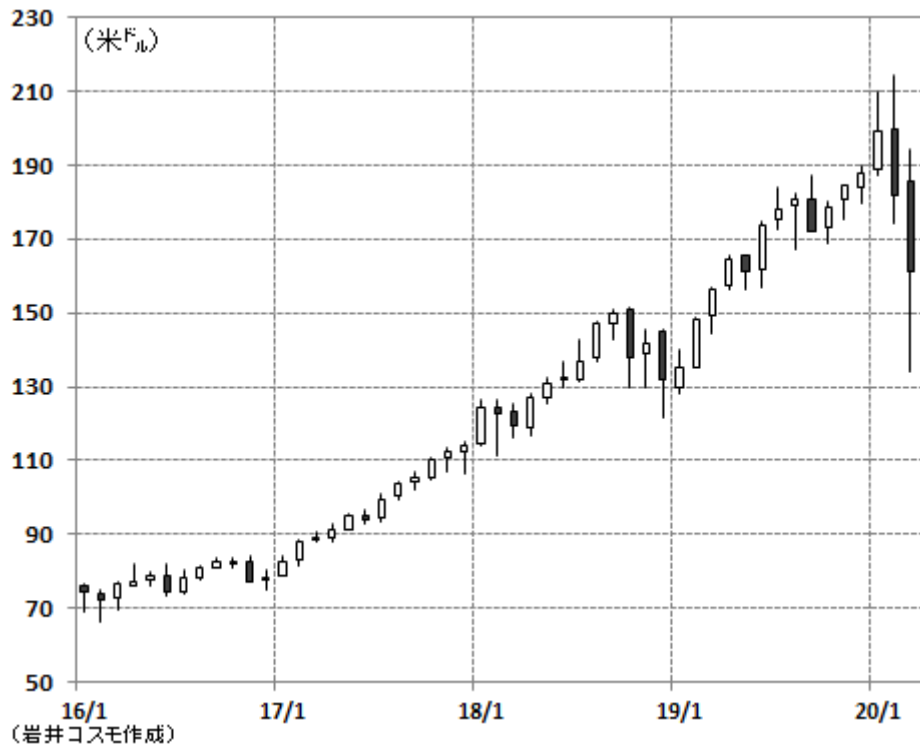
会社概要

クレジットカード決済サービス世界最大手。200カ国・地域で認証ネットワーク「ビザ・ネット」を展開。デビットカードやプリペイドカード、ATM決済サービスも手掛ける。カード総発行枚数は33.9億枚(19年9月末)。カードの決済サービスのみを行い、与信業務は銀行が行う仕組みであるため、事業リスクが比較的小さい。現金から電子決済への移行による恩恵を享受。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **19年10-12月期は13%増収**: 19年10-12月期は、前年同期比10%増収、純利益が同10%増益。収入の源泉となる総取引高は、主要国である米国で同7%増と堅実な伸び、欧州が同5%増、アジアが同3%増と続いた。為替変動を除く、20年9月通期の成長率見通しを営業収益で前期比「10%台前半の増加」とした上で、調整後1株利益を「10%台半ばの増加」としている。

□ **1-3月期増収率見通しを再度引き下げ**: 同社は3月30日、1-3月期の調整後収入の伸び率が「1桁台半ばレンジの上限」になるとの見通しを示した。同社は3月始めにアジア事業が新型コロナウイルスの打撃を受けているとして、増収率見通しを引き下げている。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標 (バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|------------|------------------------------|-----------------|----------------|---------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株 価 (米ドル) | 181.79 (04/29) | 実績PER | 33.0 (倍) | 決算期 | 営業収益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値 (日付) | 214.16 (20/02/19) | 株価売上高比率 | 15.3 (倍) | 2018/09 | 20,609 | 12 | 12,954 | 7 | 10,301 | 54 | 4.42 | 0.88 |
| 52週安値 (日付) | 133.94 (20/03/23) | PBR | 12.0 (倍) | 2019/09 | 22,977 | 11 | 15,001 | 16 | 12,080 | 17 | 5.32 | 1.05 |
| 時 価 総 額 | 3,568億ドル 38兆0,596億円 | 税前提当利回り (%) | 0.66 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率 (%) | 1.6 (過去6ヶ月間) 10.6 (過去1年間) | 配当成長率 (%) | 19.6 (過去1年間) | 2019/Q1 | 5,506 | — | 3,717 | — | 2,977 | — | 1.30 | 0.25 |
| | | 株主資本利益率 (ROE) | 42.4 (%) | 2020/Q1 | 6,054 | 10 | 4,016 | 8 | 3,272 | 10 | 1.46 | 0.30 |
| | | 株式ベータ | 1.03 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

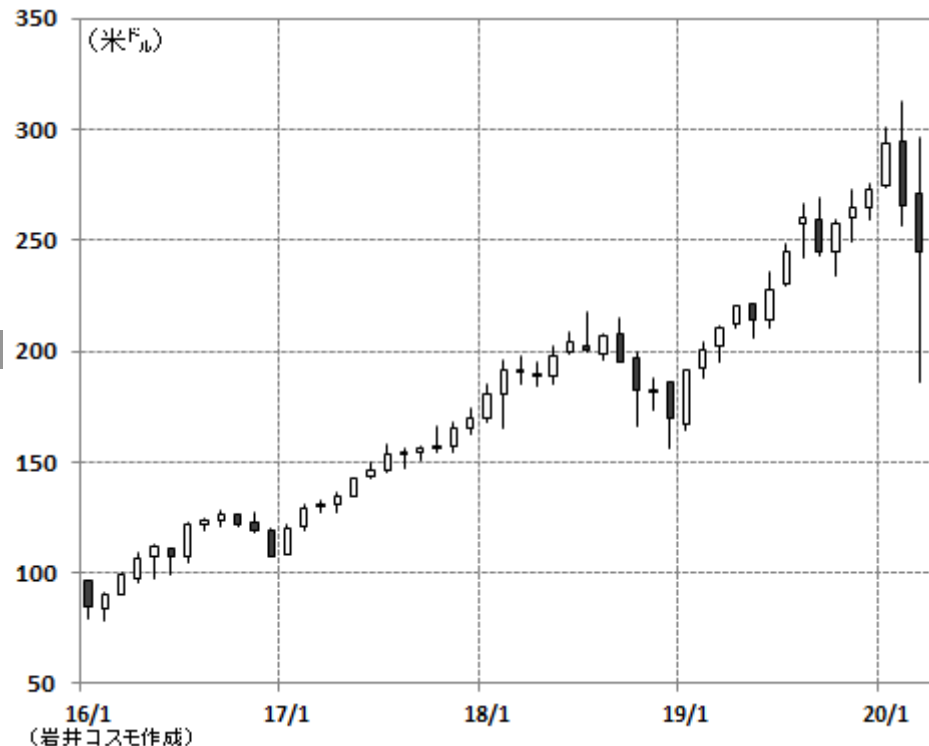
金融情報サービス大手。高収益の債券格付け業務や株式指数管理サービスを提供

会社概要

金融情報サービス大手。世界的な格付け会社「スタンダード・amp・プアーズ・レーティング」等を経営。祖業は出版社「マクロヒル」。1966年に金融情報のデータ分析サービスを手掛ける「スタンダード・amp・プアーズ」を買収。現在は、出版事業は切り離され、4つの部門(格付け、企業財務情報、指数提供、商品価格提供)からなる、情報サービス企業となっている。本社はニューヨーク、社員数は約21,000名(19年9月末時点)。

注目ポイント

- **安定した顧客基盤・高収益・排他的な競争環境**: 収益の約半分を占める債券の信用力を評価する「格付け業務」部門やNYダウ工業株平均やS&P500等の主要指数の管理を行う「指数提供業務」等、いずれの事業も参入障壁が高く、営業利益率は高水準。同銘柄は46年の連続増配実績を持ち、S&P500配当貴族指数に属す。
- **「ESG関連」事業を強化、恩恵享受**: 「ESG投資」が世界的に注目がされる中、関連事業を強化。格付け業務では環境分野への取り組みに特化した債券「グリーンボンド」の格付けや、発行体のESG項目の評価サービスを提供する。ほか企業情報サービス業務ではESGやSDGs(持続可能な開発目標)の点数化業務など広範囲に従事。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 294.42 (04/29) | 実績PER | 30.1 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 312.88 (20/02/19) | 株価売上高比率 | 10.4 (倍) | 2018/12 | 6,258 | 3 | 2,790 | 8 | 1,958 | 31 | 7.73 | 2.00 |
| 52週安値(日付) | 186.44 (20/03/18) | PBR | — (倍) | 2019/12 | 6,699 | 7 | 3,226 | 16 | 2,123 | 8 | 8.60 | 2.28 |
| 時価総額 | 709億ドル 7兆5,664億円 | 税前提当利回り(%) | 0.91 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 14.1 (過去6ヶ月間) 33.4 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 15.0 (過去1年間) | 2019/Q1 | 1,571 | — | 705 | — | 410 | — | 1.65 | 0.57 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | — (%) | 2020/Q1 | 1,786 | 14 | 912 | 29 | 639 | 56 | 2.62 | 0.67 |
| | | 株式ベータ | 1.06 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ロッキード・マーティン(LMT)

上場市場

ニューヨーク

セクター

防衛元請

防衛元請の世界最大手。海外向け輸出の増加期待

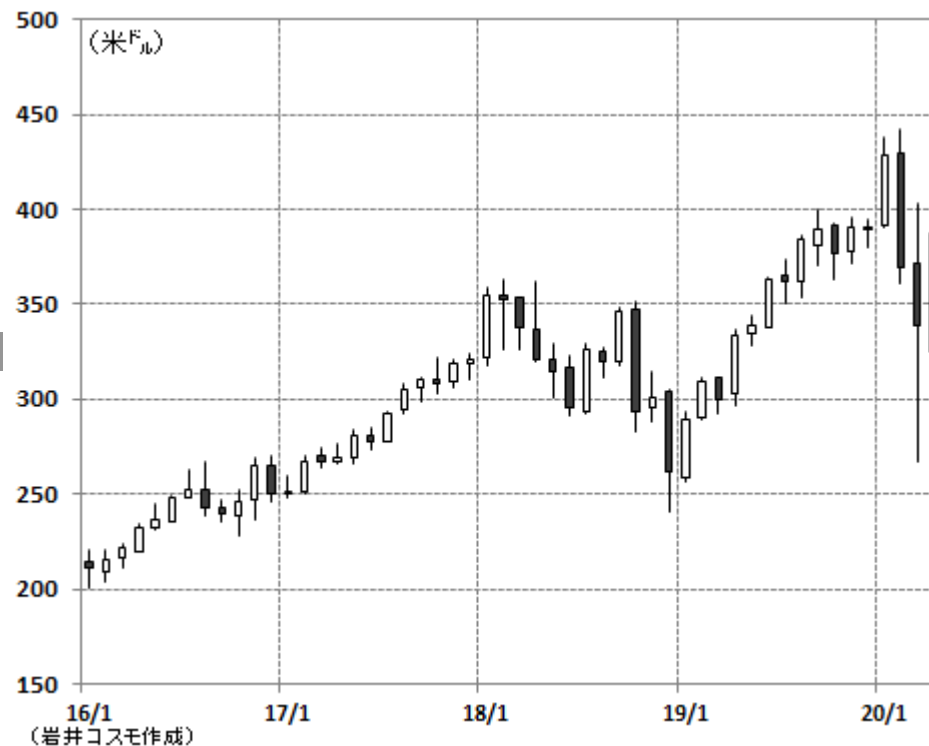
会社概要

世界最大の防衛元請企業。戦闘機が主力の「航空」部門、衛星や宇宙船を手掛ける「宇宙システム」、「情報システム」、「ミサイル・火器」、戦艦やヘリ搭載の武器やレーダーを製造する「ミッション・システム」の5つの部門からなる。15年11月にヘリ製造のシコルスキーを買収、16年8月に「情報システム」を分離。19年売上高構成の71%が米政府向け、外国政府向けを含む海外が28%、米民間向け・その他は1%。

注目ポイント

□ **20年度通期業績見通しを下方修正**：20年度通期の業績見通しに関しては、新型コロナウイルスによる供給網の阻害を理由に、売上高を前期比4～7%増の622.5～640.5億ドルと従来の627.5～642.5億ドルから引き下げた。一方で、1株利益、営業キャッシュフロー見通しについては、従来の見通しを踏襲した。

□ **米国防予算拡大、宇宙軍創設**：19年12月に米議会は2020会計年度(10月1日から9月30日)の歳出法案を可決、国防総省向けは前年比220億ドル増の7,380億ドルとなった。またトランプ政権は宇宙軍を創設、宇宙空間の軍事利用を進める中国やロシアに対抗する。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|------------------------------|----------------|----------------|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株 価(米ドル) | 387.91 (04/29) | 実績PER | 14.6 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 442.43 (20/02/11) | 株価売上高比率 | 1.8 (倍) | 2018/12 | 53,762 | — | 7,334 | — | 5,046 | — | 17.59 | 8.20 |
| 52週安値(日付) | 266.58 (20/03/23) | PBR | 31.4 (倍) | 2019/12 | 59,812 | 11 | 8,545 | 17 | 6,230 | 23 | 21.95 | 9.00 |
| 時 価 総 額 | 1,088億ドル 11兆6,050億円 | 税前提当利回り(%) | 2.48 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | 3.0 (過去6ヶ月間) 16.4 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 9.5 (過去1年間) | 2019/Q1 | 14,336 | — | 2,283 | — | 1,704 | — | 5.99 | 2.20 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 211.2 (%) | 2020/Q1 | 15,651 | 9 | 2,122 | -7 | 1,717 | 1 | 6.08 | 2.40 |
| | | 株式ベータ | 1.02 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ネクステラ・エナジー(NEE)

上場市場

ニューヨーク

セクター

公益(電力・ガス)

風力などの環境配慮型の発電に特化する電力会社

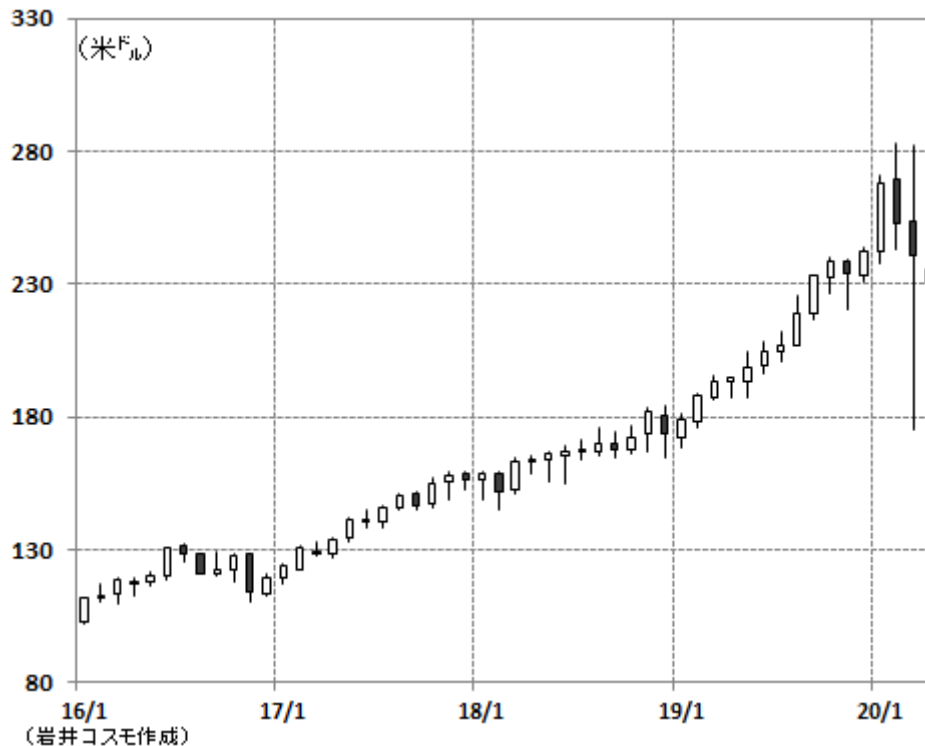
会社概要

再生可能エネルギー等の発電・販売を手掛ける持株会社。風力、太陽光、液化天然ガスによる環境負荷の小さい発電所を中心に運営し、子会社を通じて複数の原子力発電所も保有する。持株会社は主に、フロリダパワー&ライト(FPL)とネクステラ・エナジー・リソースズ(NEER)から構成される。持株会社のルーツであるFPLは1925年創業、1950年にNY市場に上場。2010年に持株会社「ネクステラ・エナジー」を設立。

注目ポイント

□**環境配慮型発電に特化**：売上高のおよそ3割を占めるNEERはより環境配慮型の発電に注力している。NEERの発電量の64%が風力発電、11%が太陽光発電と全発電量の4分の3が再生可能エネルギーに占められている。風力や太陽光発電の発電コストは年々低下してきており、経済合理性の観点からも注目を集めている。

□**ESG投資でも注目**：近年、環境配慮や企業統治の優れた企業に投資する「ESG投資」が活発化しており、これらの対応が重要視される。同社はS&PのESG評価でも、セクター最高の評価を受けるなど、機関投資家の評価も高く、今後も環境に配慮した取組みを続ける。



株価チャート (2016年以降・月足)

| 株価データ | | 株価指標(バリュエーション) | | 通期業績 | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|----------------|----------------|--------------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 株価(米ドル) | 235.13 (04/29) | 実績PER | 27.8 (倍) | 決算期 | 売上高 (百万ドル) | 前同比 (%) | 営業利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 当期利益 (百万ドル) | 前同比 (%) | 1株利益 (ドル) | 配当 (ドル) |
| 52週高値(日付) | 283.33 (20/02/18) | 株価売上高比率 | 5.8 (倍) | 2018/12 | 16,727 | — | 4,280 | — | 6,638 | — | 13.88 | 4.44 |
| 52週安値(日付) | 174.82 (20/03/23) | PBR | 3.2 (倍) | 2019/12 | 19,204 | 15 | 5,353 | 25 | 3,769 | -43 | 7.76 | 5.00 |
| 時価総額 | 1,151億ドル 12兆2,772億円 | 税前提当利回り(%) | 2.38 (直近年率) | 四半期業績 | | | | | | | | |
| 株価変化率(%) | -1.3 (過去6ヶ月間) 20.9 (過去1年間) | 配当成長率(%) | 12.4 (過去1年間) | 2019/Q1 | 4,075 | — | 1,135 | — | 680 | — | 1.41 | 1.25 |
| | | 株主資本利益率(ROE) | 9.9 (%) | 2020/Q1 | 4,613 | 13 | 1,981 | 75 | 421 | -38 | 0.86 | 1.40 |
| | | 株式ベータ | 0.91 (対S&P500) | | | | | | | | | |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- 国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- 国内取次手数料

| | |
|----------------------|---------------------------|
| 約定代金が5.0万円以下の場合 | 約定代金の16.5%（税込） |
| 約定代金が5.0万円超50万円以下の場合 | 8,250円（税込） |
| 約定代金が50万円超の場合 | 最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込） |

- 現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- 「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- 新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

| | |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株価変動リスク | 政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。 |
| 新規公開株式にかかるリスク | 新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。 |
| 信用リスク | 有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。 |
| 流動性リスク | 流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。 |
| 為替変動リスク | 外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。 |

※信用取引を行う場合は、委託保証金を担保として差し入れていただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上が必要です。
また、信用取引を行う場合は、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がお客様の差し入れた委託保証金の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。